

○ 題材「ごんぎつね」について

（作品の構造）…昔、とのさまのいた時代におきた「ごんぎつね」の話を村の人々が語り継ぎ、その話を小さい頃に村の茂平から聞いた「わたし」が読み手に語りはじめています。村から少し離れたところに住む一人ぼっちの小ぎつね「ごん」は、村人と関わりたい気持ちをもつもの、いたずらをするだけでしか関係性を見出すことができていませんでした。また村人の方でも「ごん」は余所者であり、厄介者であるそれ以上でもそれ以下でもないような認識を持っていたように感じます。そんなごんが母を亡くした「兵十」に「一人ぼっち」という共通性をみたところから、ごんの内面の変化が始まり、物語が動き出します。

（ごん）…自分の過失から兵十に母との死別をより無念なものにさせてしまったという思いから、兵十に償いを始めますが、これはあくまでも、ごんの思い込みであり事実がどうであったかは語られていません。償いを続ける中で、ごんの内で兵十の存在は大きくなっていきます。最後の場面で、ごんがそれまで入ろうとはしていなかった、兵十の家の中に入っていったのは、前の晩に聞いた話「自分の行為が神様の仕業と誤解されてしまう」に反発する形であらわれたもの、思いを寄せる自分の存在に気付いてもらいたいという心情のあらわれだったのでしょう。

（兵十）…兵十はごんが思うような一人ぼっちではありません。加助をはじめ、村でのつきあいは確実に存在します。また自分に思いを寄せるごんには最後まで気が付きません。兵十にとってごんは、最後まで「悪戯が過ぎる盗っ人狐」だったのでしょう。ですから、毎日栗を届けてくれたのごんだとわかったときの兵十の胸中は疑問、後悔、苛立ちなどでいっぱいだったことなのでしょう。そして自分に起きた不思議な体験を村人たちに話し始め、村人から村人へ話される中で、ごんの物語が生まれたのでしょう。

○ 子どもたち

3校が統合し誕生3年目の香肌小でした。大人しく、自己主張の強くない子たちは、大きなぶつかり合いをすることもありませんでしたし、言われたことは守ろうとしていました。ただ2年間同じ時間を過ごした12人の学級としては、一体感が物足りないように感じました。そこでいろんな集団を作り、共同して取り組まなければならないことをたくさん体験させました。授業での発言も多くはなく、待つという時間がたくさんありました。自分の思いや考えをはっきりさせるために書く作業の機会も多くなりました。ここまで文学教材としては、白いぼうし、茂吉のねこ、おのたのぼうし、一つの花を学んできました。活発な話し合いというのとは無縁だったような気がしますが、物語の世界の中で楽しめるようにはなっていたと思います。

○ 計画（計画通りにいかず）

初発の感想と交流 (2時間) ・結末について ・語り継がれてきた訳	読み深め 1～6の各場面(15時間) ①×4、②×2、③×2、④⑤×3、⑥×4	感想と交流(2時間) ・語り継がれてきたことについて ・最後の感想
--	---	---

H22 ごんぎつねの授業記録と感想

全文を読んでから次の2点について感想を書きました。結末については「ごんは優しいぎつね、撃たれたのがかわいそう。」「ごんも兵十も苦しむこんな結末ではいけない。」といった内容が多いように感じました。語り継がれてきたことについては「教訓として」「本当にあった話だから」「いい話だから」と少し考えるのが難しかったようです。いくつかを紹介します。

初発の感想① 「ごんと兵十の関係とその結末について思うこと」

のぞみ	<p>私はごんと兵十はすごく似ていると思いました。それは二人とも何も考えないのが似ているなと思います。ごんは兵十のおっかあがうなぎをほしいと言っていたけど、そのうなぎをとっていたから。兵十はごんが何しにきたかわからないのに、ごんを撃っていてそこが似ていると思いました。結末について思ったことは二人とも何も考えずにやっていたからこんな結末になったと思いました。</p>
あやね	<p>ごんはひとりぼっちで、兵十がひとりぼっちになったのを知って、さみしい気持ちがわかるし、兵十がおっかあに食べさせるつもりだったうなぎをいたすらでとってしまって、悪かったと思ったから、栗とかを持って行ってあげていたんだと思います。ごんはひとりがさみしくて、ひとりっていうのは暮らしにくいて思っ、いたすらをしていたんだと思います。だから兵十に毎日食べ物を持って行って、うなぎのつぐないと、兵十が暮らしやすくなるようにしていたんだと思います。ごんはいわしをあげるとき、どろぼうをして、いわしが家にあった兵十がけがをしまいました。ごんは兵十のためにしたのにけがをさせてしまって、申し訳ない気持ちだったと思います。それからごんは、栗や松茸を毎日持って行っていたのに、兵十は神様にお礼を言うことにして、それをごんは知っていたから、少しやりたくない気持ちになったと思います。でもその次の日も持って行ってあげたのに兵十に撃たれたからごんはかわいそうです。でも、もっとしっかり見て判断したらよかったのにと思いました。兵十は後悔したと思います。栗とかをくれていた優しいごんを銃で撃ってしまったからです。この結末はごんも兵十も後悔する結末でいいとは思えません。</p>
ほなみ	<p>ごんはいつもいたすらをするけど優しいと思いました。ごんはいつも一人ぼっちでさみしかったから、いつもいたすらをしていたんだと思いました。兵十のおっかあが死ぬ前、ごんは兵十がとったウナギを食べたから兵十のお母さんがなくなったと責任を感じたから食べ物を毎日届けて、ごんも一人ぼっちなのに高級な松茸も届けて、それだけ責任を感じていたんだと思います。ごんは家族もいないし友だちもいなかったと思うし、自分がウナギを食べたから、兵十のお母さんが死んだと思って責任を感じているからかわいそうだと思います。最後に兵十はごんを火縄銃で撃って、ごんを殺してしまって、その後にごんが兵十のために栗や松茸を持ってきてくれていたと気付いて兵十はすごく後悔したと思いました。はじめは悪いぎつねだと思っていたけど、すごいいいぎつねだと思いました。</p>
りゅうた	<p>ぼくはごんはいたすらばかりしているやんちゃなきつねと思っていたけど、兵十の魚を逃がしてしまって、その償いとして、栗や松茸も持ってきて兵十を助けてやっていたけど、くりを置くのがばれて、殺されたから殺した兵十は一生ごんにお礼を言うべきだと思います。</p>

初発の感想② 「このお話が語り継がれてきたことについて思うこと」

のぞみ	私はいたずらとか何も考えずにおったら何がおころうかわからないよというふうに語り継がれてきたのかなと思いました。
だigo	このお話は多分、ずいぶん昔に本当にあったことをみんなに知ってもらいたくて今まで語り継がれてきたんだと思います。そして新美南吉さんは「ごんぎつね」というお話がいつまでも語り継がれてほしいんだと思います。
みなみ	私は中山さまから伝わってきて中山さまは何年前の人なのだろうと思います。もし百年以上前だったら、百年間伝統的に守られているからすごいと思いました。もしこの飯高でもこんなお話があったらいいなあと思います。それにあったとしても飯高の人しか知らないと思うから、そういうのはもっといっぱい地域に広めたらすごいと思います。
あやね	このお話はいいと思ってやったことも駄目になることもあるっていうことを伝えたいんだと思います。ごんがいたずらをしたのも、いたずらはダメでも、いつもどおり大事なうなぎだなんて思わずにしたけど、それが兵十のおっかあの食べるうなぎで、ごんは兵十を悲しませてしまったし、いわしをあげたときも、兵十のためにやったつもりが兵十のためになんて全然なっていなかったからです。それと兵十もちゃんと見ないで、ごんを撃って気づいたのが撃った後で後悔してしまったからです。
こうだい	この話が語り継がれてきた理由は多分ぎつねも時にはいいことをするというのを教えてくれるんだと思いました。

2月18日(金)「語られてきた話について」

りゅう	本当の話だと思います。本当の話じゃなければこんなにも語り継がれてきていないと思うから。
みなみ	ぎつねの気持ちとか分かるわけないから私は嘘の話だと思います。
のぞみ	私はみなみちゃんと同じ嘘だと思います。ぎつねの代わりに人間同士であったと思って、それで一番最後はぎつねやったら撃たれとるけど、人間やったら、人間同士やったら撃ったりはしないと思うけど、人間同士であったことをちょっと変えたんやと思います。
みゆ	本当にあった話をちょっと変えて、ぎつねはこう思っとるんじゃないかって、そういう風にわからないところは面白いようにして、したんだと思います。
あやね	嘘の話だと思います。理由はぎつねの気持ちは人間にはわからないと思うし、もしそういうところ以外が本当の話でも、そういうところは本当じゃないから。
T	嘘の話っていうけど、これは新美南吉が作った話。でも形としては本当にあったことで語り継がれてきたんだよって書いてあるんだよ。そこは区別してほしい。物語を読んでいるけど、物語の中では本当の話になっている。 で、誰が語り始めてきたんやろな？
りゅう	兵十だと思います。一番身近にいたのが兵十だから、ごんのことは一番知っとるんだから兵十が語っていったんだと思う。
みなみ	中山さまの前の時代からあったように思うから、中山さまの前のとのさまだと思います。

のぞみ	私は茂平だと思います。
ゆうき	村の茂平だと思います。
あやね	村の茂平のおじいちゃんのおった村の人だと思います。
T	今のところ理由を言ってくれたのはりゅうたくんだけやな。ところで、このお話をみんなに語っているのは誰？
C	新美南吉
T	作者は世界を創っている人。
みなみ	私は茂平が語っているんだと思います。
りゅう	わたし。小さいころに茂平から聞いた。
T	そうやよな。じゃ茂平がこの話を作ったのかな。
ゆうき	わたしが何か聞いた話を文章にしとる。
T	わたしが作ったん？
C	聞いた話って書いてある。
T	りゅうたくんが言ったことを思い出すとええかもな。茂平はごんたちの近くにおったの？
こうだ	おらへん。だからしっかりは知らへん。
T	てことは、茂平も誰かから聞いた可能性が高い。殿様がおった時代というのは江戸時代っていうん。侍のいた時代。わたしのおった時代は侍の時代とは
こうだ	違う。
T	現代っぽいな。だから茂平ということではなさそうだね。とのさまっていうのはどう？
ゆうき	とのさまっていうのはちょっと。
T	とのさまってどういうイメージ？
りゅう	えらそう
こうだ	何でも命令ばかりしとって自分ではやらん。村人には語らへん。まず外のことをあんまり知らへんと思う。
T	とのさまは違いそうだね。兵十だろうか、村の人たちだろうか。
みなみ	私は兵十だと思います。理由は教科書のP71に兵十が加助に言っとるから、また加助が村の人に言ったりして、それで村中に広まっていったんだと思います。
のぞみ	私は兵十じゃないと思います。加助がしゃべるだけでは広まっていけないと思うから、兵十ではないと思います。
こうだ	僕は兵十が加助以外にも相談してそこから広まっていったんだと思います。
まさや	僕も周りの人と相談しとるからそこから。
みなみ	兵十と加助がお城の前で話をしとって、それを中山さまが聞いて、とのさまだから、これは伝えていかなければならないって思ったんだと思います。
りゅう	そんなに耳がいいわけないって
T	こうだいくんとみなみさんの意見は正反対やね。
みゆ	兵十が自分で言うのはなんか自慢みたいに聞こえるから、違うと思います。
あやね	兵十が言っていたら、自慢できることじゃないのに自分で語っていくのは変だと思います。
T	先生が誘導しとるみたいになってきたけど、、、兵十がしたことを知っているのは誰なん？

りゅう	兵十が撃ったことは誰も知らんと思う。
T	それなら兵十が誰かに話して、そこからなんじゃないだろうか。なんで話したのだろうかとうのは考えてかなあかんし、それをどうして語り続けてきたのかも。これはごんぎつねを読みながらどこかでは考えていてほしところです。

その後の2時間では、「いたずらをするごん、雨の中でじっとしていたごん、増水した川の中で魚を捕る兵十について」読みました。いたずらをするのは、寂しさを紛らわすため、嫌なことを発散、遊び相手がいないから、人間への復讐といった意見が出されました。

2月23日(水)「川の水がどっと出ているのに川で魚をとる兵十について」

だいご	ぼくは川の水が増していると流れも速くなると思うので、流れに逆らえず魚が流れてくるのを兵十は知っていて、雨が続いたあとの川で魚をとっていたんだと思います。
T	増水しているからこそ捕りに行ったんだね。
こうだ	兵十は1匹き太いうなぎをつかまえたけど、自分の分もほしいと思っているんだと思います。しかも、この日は川の流れが強いから、またつかまえようとしたんだと思いました。
T	もっともっとね。
みゆ	兵十はお母さんがいつ死ぬかわからないから、はやく食べさせたかったのもあると思うけど、お母さんを安心させたかったんだと思います。兵十は、お母さんと二人暮らしで、お母さんはもうすぐ死んでしまうから、兵十は一人暮らしで、お母さんは兵十が心配になると思うから、うなぎとかきすをいっぱいって、お母さんを安心させたかったんだと思います。
T	みんなはどう思う？
だいご	僕もみゆさんと同じで、お母さんが食べるだけのうなぎだったら、一匹で十分だと思うけど、魚がたくさん捕れるところを見せたかったんだと思います。
あやね	お母さんが食べるだけだったら、一匹でもいいけど、たくさん捕っていたからお母さんが病気になるって、死んでからでも一人でもやっていける、魚もたくさん捕っていけるところを見せたかったんだと思います。
りゅう	僕は魚をたくさん捕ってお母さんに食べさせたかったんだと思います。
T	一人分は1匹で十分だけど、もっと食べさせてやりたい。
のぞみ	お母さんが死んでしまう前かもしれないから、最後にいっぱい食べさせてあげたかったんだと思います。お母さんはそんなにいっぱい食べないと思うけど最後だからいっぱい食べてもらって、おなかがいっぱいになって、おいしかったと言ってもらいたいと思って、川の水がどっと出ているけど、そう思いながら、こんな日でも魚をとりについたんだと思います。だから兵十はお母さんともっとおりたい気持ちなんだと思いました。
T	増水した日だからではなくて、こんな日でも食べさせてやりたいから行ったって言うんだね。食べれないかもしれないけどもっともっと食べさせたい、そんな愛情があるって言うんやね。
ゆい	兵十とお母さんは病気で、兵十はお母さんが死んでしまう前にうなぎとかをどうしても食べさせたくて、川の水がどっと出ているのに魚をとっていたんだと思います。私はそれだけ兵十はお母さんのことを思っているんだと思います。

あやね	私はさっき魚をたくさん捕りたかったって言って、それもあると思うけど、兵十のお母さんは病気で兵十はいつか死んでしまうかわからないと思っていたと思うから、水がどっとでているのに川で魚をとったんだと思います。兵十は、貧しい暮らしをしてお金を出して、薬とかを買えなかったんだと思います。それで魚なら、川でとればタダだと思って、これから自分もお母さんも二人が食べるぶんとして、栄養もある魚をいっぱい捕ったんだと思います。葉っぱがついていても、気付かずに気にせずにいるぐらい、一生懸命になって魚を捕っていたんだと思います。
T	うなぎを薬というか栄養をつけさせるためっていうんだね。
ほなみ	兵十のお母さんは太いウナギをたくさん食べられないと思うけど、兵十と兵十のお母さんはずっと貧しい生活をしていて、兵十のお母さんはいつ死ぬかわからないから、お母さんが生きていて、豪華なものを食べさせてあげたかったんだと思います。それと兵十も自分でも豪華なものを食べたかったと思います。川の水の流れとかおさまってから来ても、兵十のお母さんは死んでいるかもしれないし、おなかがすいていると兵十は思ったから、川の水がどっと出ていても魚をとっていたんだと思います。兵十は結構かわいそうだと思います。
T	本当はどこにもお母さんが病気だなんて書いてないんだけど、豪華なものを食べさせたかったんじゃないかっていうんやね。今言ったけどお母さんが病気でどこに書いてあるの？
だいで	ごんがただ考えただけ…
T	ごんがそう思っただけなんさな。実際はどうなのかは分からんけどな。 (P65音読)
T	ぽんぽん投げ込みましたからどんなことを想像できる？
だいで	兵十は小さな魚をいっぱい捕っていたことがわかる。
あやね	兵十は魚をいっぱい捕っていたんだと思います。
T	結構捕っていきそうやね、これはもうちょっとごはんの用意だけじゃないよね。ちよいといたずらがしたくなかったです。についてはどう思う？
だいで	ごんは毎日いたずらをしているから、いたずらができそうなところを見るとうずうずしてきたんだと思います。
あやね	ごんは2、3日いたずらをしていなくて、見ていたらだんだんいたずらがしたくなってきたんだと思います。
りゅう	ごんはいつも村に出てきて悪戯をしとるから、その血がやりたくなくてうずうずしてきた。
こうだ	2、3日も土の中でいたから、いつもは雨が降っていなかったら出て行っちゃったけど、2、3日も待っていたから、したくなってきたんだと思います。
のぞみ	2、3日も穴の中にいたから暇だったけど、外に出てだんだんしたくなってきたんだと思います。
T	ごんがいたずらしたくなかったっていうのは君らが分析してくれたね。その通りかもしれん。そこで君らはごんがいたずらするのは仕方ないなあと思ってあげるのね。どうなん？
だいで	ずっと悪戯をしているから許す人もいるかもしれないけど、僕はやっぱり駄目だと思います。
のぞみ	ごんにはいたずらは遊びみたいなもんだけど、人間にとってはいたずらと思っているから、いろんな人が困る、特にごんのことを知っている人は、またやってるなって思う。
りゅう	ごんは普通のいたずらとは全然違うから、なんか村人はカンカンに怒っている。

おっかあを
どう扱うか

こうだ	ごんが思っているいたずらは普通のじゃなくて、人間が思っているのとは違って、駄目だと思えます。
ゆうき	ごんはいたずらばかりしているから、僕はちょっと駄目だと思う。
あやね	ごんはいたずらは普通みたいなもんやと思って、してなかったら暇なのかもしれんけど、村人からしたら嫌なことだから、しないほうが良いと思えます。
ほなみ	ごんがしているいたずらは普通のいたずらよりは酷いし、村人はすごい困るとるし怒るとると思えます。
みゆ	ごんは23日もいたずらをしてないから、したくはなると思うけど、された人は嫌だからいたずらは駄目だと思う。
T	わかるけど止めとけよっていうんやね。 (音読) P65 終わり2行 ここのごんをどう思う？
りゅう	せっかく兵十がとったやつを全部逃がしてしまったから、すごく駄目だと思う。
だいて	僕もせっかく兵十が捕まえたのに、いたずらというか遊びみたいな感じでやっているから駄目だと思えます。
T	みんな駄目っていう意見？
みゆ	なんかごんは他にも、ぽんぽんだからいっぱい投げたと思うけど、まだまだうなぎも投げたかったみたいだから、すごくいたずらがしたかったんだと思う。
りゅう	ぬるぬるするから、腹立って歯でやろうとしたんや。 (音読)
T	兵十はおっかけやんで何しとるんやろな？
こうだ	追っかけていたら時間の無駄だから、と思って追いかけてなかったんだと思えます。
T	時間の無駄と言うことは何かすることがあるってこと？
こうだ	う〜ん、何かするって、その間にも魚は捕れるから、追いかけてやんとまた捕れば良いやと思ったんだと思えます。
のぞみ	追いかけてたって何にも、ごんは魚を川に投げたし、追いかけても時間の無駄やし、先に魚を捕った方が早いと思ったから追いかけてなかったんだと思えます。
だいて	追いかけても追いつけないと兵十は思ったから、追いかけるよりもう一回魚を捕り直した方が良かったんだと思えます。
あやね	追いかけてもごんはうなぎをとって逃げとるだけやから、その間に魚を捕ったほうがいっぱい捕れるから、そのまま捕っていたんだと思えます。
T	そうかもしれんね。最後に一つ確認させて、兵十は「うわぁ盗人ぎつねめ」と言ったね、これはどういう意味や？
りゅう	泥棒
こうだ	人のものを盗む
T	兵十はそう思ってるけど、ごんはどうなん？
C	いたずら！
T	「今日のごんのいたずらについて思うこと」を書いて。

2月24日（木）「前回の感想をもとに、いたずらをするごんについて」

T	怒鳴られてうなぎを首に巻き付けたまま逃げるごんを見てみんなはどう思う？
りゅう	いたずらせんたらよかったのに
だいが	初めて見たらびっくりするけど、何度もしとるのを知っていたらしやんだらええのにとおもいます。
みゆ	私も初めて見たらびっくりするけど何回もいたずらしているところを見ていたら、いたずらしたバチが当たったんだと思う。
T	先生は可愛い感じがするんやけど、実際の兵十は君らが思うようにざまあみろなんかな。じゃ昨日書いたごんについてどう思うってことを紹介してもらおうかな。
だいが	ぼくは2、3日雨が続けていたずらが一つもできなかったから、ぬかるみ道を歩いている時も「なにかいたずらできるものはないかなあ」と思っていたんだと思います。そこへちょうど兵十のびくがあったので、すごくいたずらがしたくなっただんだと思います。なのでごんはじれっなくなっても、うなぎも魚も全部川の中へ投げ込もうとしたんだと思います。
こうだ	今日のごんは、うなぎをいたずらでぬすんでいただけ、ぼくはいたずらじゃなくて、ただのどろぼうだと思いました。
T	ここさ、ごんってうなぎを盗もうとしていたん？
りゅう	ほろうと
のぞみ	私はいたずらにしては、ひどすぎだと思いました。理由は兵十がとった魚を川に逃がして、それだけで十分いたずらしたのにうなぎまでとって、何の意味もないのにうなぎをとって、捨てているから、ドロボーといたずらよりもすごいひどいことをしたと思いました。
T	1の場面の最後、うなぎは食べてもいないだね。それが酷すぎると。
りゅう	今日のごんはいつもよりは、まだましなイタズラだと思います。理由はいつもは食べる物は燃やしたりして食べれなくするけど、この日はその魚をまたとれる可能性があるからです。
T	言っていることは逆だね。酷すぎるとまだまし。みんなはどう思う？
だいが	ちょっとひどい
こうだ	ひどい
だいが	網の上流に投げ込めばまた捕まえられるけど、下の方に投げ込んだらさ
T	なるほどまた捕れる可能性はないんやね。
みゆ	ごんは二、三日の雨ですっとひまだったと思うから、いたずらとかをしたくなると思うけど、兵十がとった魚はたくさんあったのに、全部投げたから悪いと思います。でも、ごんは今までも、たくさんいたずらをしているから、殺されるとかは考えないのかなと思いました。
T	みんなはどう思う？隣同士で。
だいが	多分ごんの住処は誰にも知られてないと思うから、殺されそうになってもすぐ戻ったらええって、殺されないって思うことはない。
りゅう	きつねは人間より足が速いから逃げれると思って、怖いと思ったことはない。
T	何が起こっても逃げれる自信があるっていうんやね。じゃ狙われるかもしれないっていうのは覚悟しとったんやろか？
みゆ	ごんはいたずらとかは人に構ってほしくてやっていると思うから、全然そういうのは考えて

	ないと思う。
こうだ	僕はごんはいたずらとしてやってるだけだから、狙われたりとかは思ってないと思う。
T	傍目から見たら酷いことなんやけど、ごんからしたらいたずらなんやと。そこまでのことはしとるつもりはない。
のぞみ	いたずらは遊びのように考えとって、みゆちゃんの言った構ってほしいと思っただけやとるから、だからそんなに人間は、兵十は追いかけてこうへんだし、口で怒っただけやから大丈夫やって感じて思っただけやから、そんなに考えたことはないと思う。
T	叱られるのはわかってやっているんだけど、そこまではって考えてないと思うんやね。そこまでして構ってもらえやんごんはどう？いたずらをしやんと構ってもらえやん存在ってみんなどんな感じがする？
だいご	ちよい寂しい
りゅう	ごんはいたずらをしとるから、ごんは嫌と思われとるから余計構われない。
みゆ	可哀想と思うけど、
のぞみ	人間とかそんなにごんのことは分かってなくて、一人ぼっちもわからないと思うから、読んだ人、ごんを知っとる人は可哀想だと思うけど、人間から見たら可哀想ではないけど、違ったとも考えてしまう。
T	語り手も読者も知っとるけど、ここに出てくる村人はごんのことをほとんど知らへんのやもん。知ったら可哀想とは思うかもしれないけど、知らへんのやもん。いたずらをしとるところしか見てない。憎まれて当然なんかもしれないね。
ゆい	私はいたずらは悪いことだからやってはいけません。それはごんにとっては遊びかもしれないけど村の人たちが困っているから、いたずらとかはしないほうがいいと思います。でも、ごんは一人ぼっちのこぎつねだから少しはいたずらがしたくなるんだと思います。一人ぼっちだったらさみしいときがあるから、いたずらしたくなるんだと思います。
T	ゆいさんみたいに村人が思ってくれたらよかったけど、それはさっきのぞみさんが言うたように、わからんもんね。
あやね	ごんは二、三日の間、あなの中でじっとしていたから、兵十を見ていると、どうしてもいたずらがしたくなってきたんだと思います。でも、一生懸命兵十がとった魚を逃がしてダメなことをしたと思います。じれったくなっても、うなぎをとりたいて思っているから、それだけいたずらがしたかったんだと思います。でもいたずらは悪いことだからじれったくなったらやめたらいいと思いました。
T	あやねさんならいたずらなんだから、きーとなったところで止めとけ、みんなはどう？
だいご	僕はいたずらやったらじれったくなってもやる。
りゅう	やる。だってうなぎなんか負けとれやん。
	この後、2の場面 村の様子とそれを見るごんについて読みました。

2月25日（金）「六地藏さんのかげにかくれているごんについて」

	(音読) 2の場面 彼岸花の話
T	「六地藏さんのかげにかくれているごんについて」を紹介してもらおうか。
だいご	ごんは、多分葬列の近くに行きたいと思うけど、兵十がとった魚やらうなぎを川に投げ込んで、兵十のおっかあに食べさせることができなかったから、葬列の人たちに仕返しをされそうなので、少し離れた六地藏さんのかげにかくれて兵十たちを見ていたんだと思います。
こうだ	このときのごんはいたずらをしようとは思ってないと思います。葬式のことを知っているから、いたずらをしようとは思ってないと思いました。
みゆ	ごんは兵十のことを知っているから、誰が死んだんだろう？とか兵十は大丈夫かな？とか心配になって見ているんだと思います。ごんはもっとよく見るために、前へ行きたいけど、見つかったら、葬式がめちゃくちゃになって、兵十がかわいそうだから、六地藏さんのかげで隠れて見ているんだと思います。
T	みんなはごんが葬列の前に出てきたらメチャクチャになると思う？
C	なる
T	かなり憎まれとるんかな。
こうだ	いたずらのしすぎや
T	心配やお参りしたい気持ちは君らにも全く分からんことはないよね。そんな気持ちでいる人が近くにも行けない遠くで見とるしかないって、そんな感じはどう？
だいご	僕はちょっと可哀想だと思います。
りゅう	僕やったら、ちょっと辛い。
こうだ	僕がお参りできなかったら、今までしてきたことが駄目だったんだなあって後悔する。
まさや	僕は後悔するし落ち込む。
ゆうき	僕も後悔すると思います。
ほなみ	ごんは葬式をしていることを知って兵十はお母さんが死んでしおれたような顔をしていたから兵十たちの前へ出ないほうがいとごんは思ったんだと思います。ごんは両親を亡くしたから兵十の気持がよくわかるんだと思います。私はごんは兵十にはいたずらをやらない方がいいと思ったと思います。兵十たちが見えなくなるまで、ごんは六地藏さんに隠れていようと思ったんだと思います。
T	ごんにはよく分かります。
のぞみ	ごんは何かあるときにどこか近くにいる、それを見ているから、ごんはいつも変なことを企んでいると思います。でも企んでいるといっても、いいことを考えてるのもあると思いました。六地藏さんのところで隠れていたから、怪しいと思ったけど、たまにはいいことを考えているときもあると思うから、このときは、兵十の家族のだれが死んじゃったんだらごんは兵十のことを心配しているんだと思います。
ゆうき	ごんはだれが死んだのか知りたくてお葬式を見ていたんだと思います。兵十のお母さんが死んだらごんは兵十がかわいそうに見えたと思います。
	(P69音読)

後悔するごんについて読む。

- T
だ い ご
ごんのうなぎをとってきてしまったってどういうこと？
うなぎをとってきてしまったら、なんの目的もなしにうなぎを食べやんと置いてあるとかそんな感じ。
- こ う だ
み ゆ
何も考えずに持ってきてしまったっていう感じ。
食べたいとも盗もうとも思ってないけど、なんか持ってきてしまったっていう感じ。
- T
たまたま首に巻き付いて持ってきてしまった。ごんが持ってきてしまったのは十日ほど前のことやよな、その日から兵十のことを見ていたやろか。
- C
見てない。
- T
そうやろな。でも兵十のおっかあは床についてうなぎが食べたいと言ったに違いないって言ってるよね。・・・ごんはそう言うけど、本当に兵十のおっかあは床についていたんやろか？ごんには見えとるようだけど。
- だ い ご
兵十はよっぽどのことじゃないとはりきり網を使わないと思うから、兵十のおっかあは床についていて、うなぎが食べたいと言ったと予想できたんだと思います。
- T
の そ み
あんな雨の次の日に行くなんて普通じゃないぞってごんは考えたっていうんだね。
ごんは村のいろんなことを知ってるから、兵十のことも知ってるなら兵十のおっかあのこと
も知ってると思うから、床についているのは本当だと思うけど、うなぎが食べたいと言ったのは、川がいつもと違うのに兵十が行くのがおかしいと思ったから、ごんはこう考えたんだ
と思います。
- こ う だ
うなぎとかは今でも豪華な食べ物でお母さんは食べたいとか言っていたかどうかは分からないけど、兵十は食べさせたかったんだと思います。
- T
あ や ね
と、ごんは想像したっていうんだね。
ごんは村のことを知っているから、兵十のこともちょっとは知って、多分兵十の性格と
かも知ったと思うし、兵十がいつもと違う川で魚を捕っていたのも見とったから、兵十
のおっかあが床についていて、うなぎが食べたいと言ったに違いないと想像したんだと思
います。
- T
うなぎが食べたい。これが事実かどうかは分からないけど、うなぎが食べたい食べたいって
言っている人に食べさせてやれない。しかも自分のいたずらが原因ってさ。もしそれが自分
ならどんな気がする？
- だ い ご
り ゅ う
うなぎとか買って、弁償したいような気になる。
なるなる。償いを。
- T
み ゆ
でも、この場合、うなぎを食べたがっていたおっかあはもういないんやよな。
あんまり話をしない人とかだったら、あんまり遭わないようにして、なかつたような感じに
する。
- ま さ や
の そ み
僕は申し訳なかったっていう気持ちでなんか物を渡す。
兵十はお母さんと二人きりだったから、お母さんを亡くしてすごく残念な気持ちやから、そ
の兵十にお礼とかして、まさやくんが言ったようにいろんな物を毎日渡すと思います。

病であった
と思い込む
子たち

だいき	僕は申し訳ないって思って、この場合は兵十の家に行って、何でもいいから弁償させてって言うと思う・
あやね	私はなんであのときいたずらをしたんやろうって思って、この場合ならもう兵十はうなぎを食べさせてあげられないけど、せめて兵十に何か物を渡すと思います。
ゆうき	申し訳ないって思って、何かしてやりたい。
T	何かしたい。侘びを入れたい。でもごんは兵十の家に行くことはできるのかな？
ゆうき	できない。
T	「後悔するごんを見て」君らが思ったことを書いて。

2月28日（月）「後悔するごんを見て」

だいき	ぼくは今までごんは後悔したことはなかったのかなぁと思います。理由はごんは今まで菜種がらに火をつけたりしていたのに後悔したとは言っていないから火事になりそうなきも後悔なんてしてなかったんだと思います。でも今回はいたずらをして、そのまま兵十のおっかあが死んで後悔していたので、少しはいたずらに飽きたのかなぁと思いました。
T	みんなはどう思う？後悔したことはなかったんじゃないかってだいきさんは言うんだけど。
こうだ	ごんはいたずらで火とかをつけていたから後悔とかはしてないと思います。
みゆ	菜種がらに火をつけたりして、これまでに1回や2回は後悔したことはあると思う。
まさや	火をつけたりしてるから、後悔とかしたことはない。
りゅう	僕はごんは今まではいたずらをして笑ったと思うから、やったことを後悔してない。
T	笑った姿が想像できるとはいいねえ。合っているとかは別にして自分でイメージが膨らんでくる読みっていうのはすごいねえ。
T	今回は後悔するんやねえ、どうしてやろうね。
だいき	今までごんは何回もいたずらをしてきたとは思うけど、そのいたずらがつながって、死んだ人はおらんだと思うけど、兵十へのいたずらでそれにつながって、兵十のおっかあが死んでしまったから後悔したんだと思います。
みゆ	ごんは兵十のことをちょっとは知っているし、兵十のおっかあも死んでしまって、自分がうなぎを捕ってあげることでもできないから後悔したんだと思います。
T	二人の意見はちょっと違うよね。ごんのいたずらがきっかけで兵十のおっかあは死んでしまったんだっけ？
こうだ	それはつながらんと思う。
のぞみ	ごんはそうやって想像してるだけだから、つながったとはまだわからん。
T	うなぎを食べたところで、
こうだ	治ったりはしやん。
T	そうやろうねえ。しかも本当に病気だったのかも分らないのやし。
のぞみ	みゆさんが言ったのは死んでしまった後にはうなぎを食べさせることができへんから後悔しとる。これは死んでしまったら取り返しがつかないもんね。他の人はどう？
のぞみ	私はちょっと違って、お母さんのほうじゃなくて、兵十はおっかああと二人っきりだけだから、

ごんが殺したのか

	死んでしまったら自分と同じ一人ぼっちで、ごんは一人ぼっちを自分で寂しいと思っておるから、一人ぼっちの兵十のことも悲しくなって後悔しとるんだと思います。
みなみ	ごんは本当は兵十にいたずらをするはずだったんだけど、兵十のお母さんにいたずらをしてしまったから後悔しているんだと思います。
あやね	私はのぞみちゃんと少し似とって、ごんは兵十にいたずらをして、ごんが想像したのでは、おっかあにうなぎを食べさせられなかったことを想像しとるから、兵十は一人にもなったし、おっかあにうなぎを食べさせられなかったから、兵十が可哀想だと思って、後悔しているんだと思います。
T	うなぎを食べさせられやんだだけじゃなくて、一人ぼっちになってしまった兵十のことも想像して胸が痛くなっているというんやね。なるほど。 じゃまた前の感想を聞かせてもらおうか。
みゆ	ごんは、いたずらをして悪いことをしたけど、そのあとにごんは反省しているし、後悔もして、兵十に悪いことをしたと思っているから、兵十にその気持ちが伝わるように、こっそりじゃなくて、ちゃんと兵十の前へ行っ、栗とか松茸をわたせばいいと思います。でも、そこで殺されるかもしれないけど、それは兵十のことだけじゃなくて、他の人も殺そうかと思っているかもしれないから、しょうがないと思います。
T	みゆさんの考えはどう？ひょっとして人前に出たら殺されるかもしれないけど、それでも気持ちを伝えるのなら、兵十の前に持っていくべきだって言うんだね。みんなはどう思う？
だいが	もしごんの立場だったら殺されるのは嫌だから、村の人たちがいくら嫌いでも、殺した方がいいとか、そんな残酷なことは言わないほうがいいと思うので、1回ぐらいは前に出て言った方がいいと思うけど、それからはこっそりやっていった方がいいと思います。
こうだ	今までしてきたいたずらが、悪いことだから前に出ようと思っても、殺されるとかほとんどわかりきったことだから出れないと思います。
りゅう	ごんは今までいたずらをしてきたから、誤解を解くために人の前にさっと出て、さっと栗とか松茸を置いて、さっと逃げたら誤解は解けると思う。
みなみ	私はごんぎつねという話は嘘だと思うけど、書くときに、自分で言えないことは手紙とかに書くから、ごんもぎつねだけど、手紙を書いて兵十が読めるかは分からないけど、栗とか松茸と一緒に置いておいたらいいと思います。
T	ごんが手紙を書けるのならそれもいいかもしれんな。じゃごんは手紙を書けるんやろか？
こうだ	書けやん。
りゅう	ペンでさえ持ってない。
T	人間みたいにいろんなことを考えているけど、人間のように話すことはできるんやろか？それができやんところにもまた問題があるんやな。ごんは謝りに行きたくてもなかなか行きにくい立場にあるんやよな。それでも謝りに行くべきというのも、仕方ないよなと思うのも自由なんだけどね。でもごんはそういう立場にあるんやってことは覚えておいてね。
ほなみ	ごんは兵十のお母さんがもうすぐ死んでしまうことを知らなくて、兵十がとったうなぎを持

	<p>っていってしまったけど、ごんのせいじゃないのに、ごんを励ましてくれる人は一人もいないし、自分が悪いけど、かわいそうだと思います。ごんは自分で勝手に思っているだけだけど、あんなに真剣に思っているのだから優しいきつねだと思いました。</p>
T	<p>ほなみの変化</p>
りゅう	<p>そうだね、励ましてくれるとか慰めてくれる人も確かにおらんよね。</p> <p>普通のきつねはそんなのを見ても「ふ〜ん」みたいになるけど、ごんは後悔をしているからイタズラはするけど心はすごく優しいきつねだと思いました。ごんは後悔できるからいいきつねだと思いました。</p>
みなみ	<p>ごんはちゃんと反省しているからいいと思います。なぜならごんは兵十のおっかあにうなぎを食べさせることができなかったから、そのまま死んじゃったに違いない、うなぎが食べたいと思って想像しているから、ちゃんと反省しているし、また兵十が明るくなってほしいと思っていたし、天国にいる兵十のおっかあに謝っていると思います。でもあまりにも兵十が落ち込んでいたから、いたずらはよくないと思ったと思います。</p>
あやね	<p>ごんはいつも軽い気持ちでいたずらをしていて、そのときは、後悔していないけど、いつもどおりにやったことが兵十のおっかあが食べるのだったと知って、どうやって兵十に返せばいいのかと思って、すごく後悔していると思います。ごんはなんであんなことをしたんだろうとされていて、「自分のせいで兵十はおっかあに、うなぎを食べさせられなかった」「兵十はかわいそうだな」って自分を責めていると思います。ごんは本当は優しく、人のことを考えられるきつねなんだと思います。</p>
のぞみ	<p>ごんはいたずらをしているけど、優しいところもあるから後悔しているごんはいたずらをしているときと全然性格が違います。ごんが後悔するときはやさしいときだから、それだけ後悔するんだったら、いたずらは人が悲しい思いをさせないぐらいにしたらいいいと思います。</p>
ゆい	<p>私はごんはいたずらをしてしまって、兵十のお母さんにうなぎを食べさせられなくて、でもそう思ったごんは少しはいたずらやめようかなって思ったかはわからないけど、私は思ったと思います。でもごんは兵十のお母さんにうなぎを食べさせてやれなくて、でもごんはそういうことを言っているから優しいと思います。</p>
T	<p>だいごさんも言ってたけど、ここで初めてかもしれないけど、いたずらをしたことでこんなにも後悔をしている。実は人の気持ちもよく考えられるごんやったんやあって。こういうことをしたら、こういう結果になるんや、もう止めとこう、そういう風に思えたんじゃないか。嫌なやつだと思っていたけど、そうでもないなとみんなも思えてきたんだね。そういう風なごんの変化っていうのは、君ら以外読者以外には分かつんの？</p>
だいご	<p>この文を読んでいる人は分かるかもしれないけど、村人はそうは思っていないと思います。</p>
T	<p>そこらへんも考えながら3の場面を読んでいきましょう。</p>
	<p>3の場面を読む (音読) 兵十は赤い井戸の～</p>
T	<p>「俺と同じの一人ぼっちの兵十か」これを聞いてどう思う？</p>
りゅう	<p>ちょっと嬉しそう</p>
こうだ	<p>ぼくはりゅうたくんと逆で、一人ぼっちになって、ごんは自分はなんか寂しくしていたずらをしていると思うから、可哀想と思っていると思います。</p>

だいち	僕もこうだいに似ていて、ごんは一人が寂しくていたずらをしていると思うから、兵十が可哀想に思えてきたんだと思います。	
ゆい	寂しいと思って、それはごんも一人ぼっちの小ぎつねで、兵十はお母さんを亡くしてしまったから、お母さんとかがいなくなると寂しくなるから悲しくなったと思います。	
T	ごんには兵十の寂しさがわかる。共感できるってことかな。じゃあさ、りゅうたくんは嬉しそうって言うんだけど、そのことについて先生は分かるけど、みんなはどう？	
みゆ	ごんは兵十のことを可哀想と思っていると思うけど、兵十が一人ぼっちで、そんなにそういうことはないと思うから、ちょっとだけ一緒に遊んでくれそうかと思っている。	
あやね	私はみゆちゃんとはちょっと違って、ごんは兵十のことを可哀想とは思っていると思うけど、兵十も一人ぼっちで、ごんと同じ気持ちになったから、同じ気持ちのひとがいることが嬉しいと思っているんだと思います。	
だいち	ごんも兵十も一人ぼっちというところが共通しているから 仲間ができたとか、そういう感じに思ったんだと思います。	仲間を求めることへの共感
みなみ	ごんは一人ぼっちで、兵十はお母さんを亡くして一人ぼっちになったから、同じ気持ちを味わってくれる人ができたから、ちょっとだけ嬉しいんだと思います。	
のぞみ	ごんは兵十の気持ちをよくわかると思って、可哀想と思うかもしれないけど、ごんも仲間ができて、ちょっと嬉しいとは思っていると思います。	
T	人間の気持ちなんて一つだけじゃないもんな、いろんな気持ちが混ざるともんな。寂しさも分かるけど、嬉しいという気持ちもあるかもしれんな。	
T	ごんはこんな気持ちもあってか、鰯屋が来たときなんか閃くよな？それについてはどう思う？	
みゆ	別に兵十のおっかあが死んだのはごんのせいじゃないけど、ごんは兵十に鰯をあげたから悪い狐じゃないと思う。	
りゅう	ごんは兵十の捕った魚を逃がしてしまったから、同じ魚で兵十にあげようとしているんだと思います。	
みなみ	ごんはお母さんが死んだ原因でもないけど、ちょっとは自分が原因っていうのも思っと思うから、ごんは多分、仏壇とかもあると思うから、うなぎの代わりに鰯を祀ってくれという感じで、そういうことを思いついたんだと思います。	
あやね	ごんは兵十に悪いことをしたと思っているから、それは鰯屋のおじさんには悪いことをしているけど、それでも何か兵十にお返しをしたかったんだと思います。	
だいち	ごんは兵十の魚を盗ってきてしまったし、うなぎも盗ってしまったから、同じ魚じゃないけど魚で償いをしたいと思ったんだと思います。	
T	魚で償いをしたいかあ、先生は思いもつかへんだわ。ごんは鰯売りから鰯をとっていったけど、悪いと思ってるんやろか？明日考えてみよう。	

3月2日(水)「いわしを償いにするごんについて」

いわし売りの車からいわしをとって～穴に走ったごんの様子を読みました。

- だいご 僕はいわし売りと兵十、両方にばれないようにやったんだと思います。
- T いわし売りにもしもばれたらどうなるんやろ？
- ゆい ごんは兵十やったら殺されるかもわからんけど、いわし売りやったら殺されやんかなと思います。
- ゆうき 捕まえられてなぐられる。
- だいご 見つかったら石とかを投げられる。
- T 泥棒しとるんやからそれは当然やろうな。ごんは、いわしを盗ることが許されることではないと分かるとるよな？それは知ったけど、兵十にいわしをあげたいという気持ちの方が強かったんやろうね。だからこういうことをしたんや。でも駆け戻る途中でなんかしてますよね？どうして振り返ったんやろ？答えは載ってないけど。
- まさや なんか兵十にばれないように。
- だいご 兵十とかにばれたら、兵十がごんを見つめているかもしれないから、ばれてないか確認したんだと思います。
- みなみ いわし売りの人たちは、追いかけてこないか。そういうのを見たんだと思います。
- T いわし売りは一人やろな。安全の確認っていうんだね。
- こうだ いわしが家の中にあるってのは気づかれない方がよかったの？
- まさや 気付かれなきゃ意味がないっていうか。
- あやね 僕はまだ見つからん方がいい。
- だいご せっかく投げ込んだんだから、見つかってないと意味がない。
- T 僕はまだいわし売りがおるかもしれやんから、兵十が麦をといて帰ってくるぐらいが丁度見られてもいいぐらいだと思います。
- T 気づいてほしいけど、今じゃなくて、いわし売りがおらんようになってからだって言うんだね。
- T 「ごんはうなぎの償いに一ついいことをしたと思いました。」ここのごんについてどう思う？
- まさや ごんはいいことをしたと思っているけど、鱈売りの人とかは、悪いことをされたと思っている。
- だいご ごんにとっては償いと思っているけど、人からしたら、これは泥棒扱いされるから、あんまり良くないことだと思います。
- みゆ ごんはいいことをしたと思っているけど、私はいわし売りの人とかには悪いけど兵十にはいいことだと思う。
- ゆい ごんにとってはいいことをしたと思っているかもしれないけど、兵十がいわし売りに怒られるとかそういうことになるから、いいことじゃないと思います。
- りゅう ごんは多分いわし屋の人に兵十がばれることを知らないと思うから、いいことをしたんだと思っている。
- あやね ごんはうなぎの償いにはいいことをしたと思って、ほっとしていると思うけど、**いわしを盗**

いわしを見つけた兵十のことが楽しみというのは出てこず

	んだのは、いいことじゃないと思うし、ごんはそれも分かっと思ってやっとなるんだけど、投げたあとはいわしのことは考えてないと思う。
T	償いをしたということには考えがいくけど、いわしを盗んだということには考えがいてないってことやな。
ゆうき	ごんは、兵十が可哀想だと思って、いわしを投げて、喜んでくれるかなと思って、ほっとしている感じ。
T	ごんの頭の中は兵十の喜ぶ顔でいっぱい、いわし屋のこととかもすればれたらということは全然頭にもなかったっていうんやね。
	(音読) 次の日には山でくりを～
T	ごんはとげとげいっぱい抱えて運ぶんやろうなあ。
C	痛い。
りゅう	いくらきつねでも痛い。
T	でも痛い痛いと感じながら持って行くとどう思う？どんな様子をイメージする？
だigo	僕はうなぎの償いとか、兵十の喜ぶ顔とか、そんな感じをもって、持って行っているんだと思います。
あやね	ごんは栗を持って痛いかもしれないけど、兵十の喜ぶ顔を思いながら、行っているんだと思います。
りゅう	兵十の喜ぶ顔を想像しながら持って行くと痛みが消えていく。
T	前の日はいわしを投げたし、今日はこんな栗を持っていくんだから、多少痛くても関係ないって感じなのかもしれないね。
	(音読) 裏口からのぞいてみますと ～
T	これはしまったってどういうこと？
こうだ	はじめはいわしを投げ込んでいいことをしたと思っていたけど、兵十が殴られて、あんなことしなければよかったと後悔している。
だigo	ごんははじめのうち、いわしを投げ込んでおいたから、兵十にはいいことしたかなと思ってたけど、いわし屋の奴に殴られたから、なんかええことじゃなかったっていう、後悔してるんだと思います。
みなみ	ごんは折角兵十に、折角いわしを放り込んでいたのに、ごんは兵十にいいことをしたと思っているから、兵十が喜んでくれるやろうとか、そういうことを思ったと思うけど、ごんは兵十の独り言を聞いたりして、後悔したと思います。
T	ゆいさんも言ってたよね、これは良いことではない、これをして喜ぶ方があかんのじゃないかって。結局そういうことを、いままでごんは、兵十が喜んでくれるとばかり考えていて、そこまで思ってなかったんやね。だからそういう結果になって、これはしまったって、だigoくんが言ってたように、あんなに楽しみにしてて、りゅうたくんが言うように、痛みを忘れるくらい楽しみに持ってきとったんやね。その気持ちが兵十のつぶやき、顔を見てガラッと変わってしまったんやよな？

イメージ誘導かしら

3月3日（木）1限 「前のごんについての交流と疑われる兵十の立場について考えてみる」

こうだ	今日のごんはすごくいいきつねだと思います。昔は松茸は高級品かわからないけど、高級品かわからないけど、栗はとげがあって痛いのに、何日もいっぱいとっているから、いいきつねだと思いました。
りゅう	今日のごんは今までで一番良かったと思います。理由は栗とかを、その日だけじゃなくて、毎日毎日持っていつているから今までで1番良かったと思います。ごんは、それだけ、兵十につぐないをしなくちゃいけないと思っているんだと思いました。それがぼくだったら1, 2日しか続かないと思います。
ゆうき	ごんはいわしを兵十の家にほうりこんでいいことをしたと思っていたけど兵十がどろぼうと思われてひどいことをされたから、また、ごんはすごく後悔していると思います。兵十がかわいそうと思って、栗や松茸を毎日兵十の家に持っていったから、ごんはいいことをしたと思います。
だいで	ごんはすぐに気持ちが変わっていると思います。ごんは山で栗をどっさり拾って兵十の家へ持っていくときは「きっと兵十は喜ぶだろうなあ」と思っていたけど、兵十のひとり言を聞いて、「兵十はいわし屋になぐられて、傷までつけられたのか」と思っているので気持ちがすぐ変わっていると思います。僕は今までごんはこんなことはなかったと思うから、兵十に償おうと思って性格が変わったんだと思います。
T	すぐに変わったの？すごく？
みゆ	ごんはいわしを兵十の家に投げ込んでいいことをしたと思っていたけど、それはいいことじゃなくて悪いことになって、栗もあげたら、また同じようなことになって、兵十をけがさせるかもしれないし、見つかったら殺されてしまうかもしれないのに、ごんは毎日持ってきて 勇気がある と思います。
T	ちょっと確認しようか。いわし屋から、ごんが盗ったせいで兵十は酷い目にあったんだね。この後のことは書いてないけど、 それからごんは盗んだものを兵十に届けたと思う？
だいで	人から盗ってきた物は兵十にはあげてなくて、 誰の物でもない山とかから採ってきて 、それを兵十にあげている。
みなみ	栗は誰かのもので他にはないと思うから、ごんは誰かの家の栗を山から持ってきとるんだと思います。
あやね	ごんは誰の物でもない山の栗と松茸を持って行っていると思います。理由は、ごんは鰯を盗んで、やったのは、鰯がそんだけ必要だったからだけど、それから山で採ったって書いてあるし、 自分が住んでいる山で、誰の物でもない栗を採ってきているんだ と思います。
りゅう	ごんは山で栗を拾ってきたって書いてあるから、誰の物でもない栗を毎日毎日拾って、兵十にあげているんだと思います。
ほなみ	私は、ごんは誰の山かは分からんけど、栗があるところとかに行って、栗を採ってきているから、栗を、
T	じゃ他のみんなは？隣と話してみて。
こうだ	僕が思うには、鰯を投げていった次の日に、栗とかを持っていった日に、兵十のほっぺたに傷とかが付いていたと思うから、それで栗が人のものだったら、今度からは、持って行った

勇気があるから届けるのか

だいが	らまたやられるから、持って行かないと思うから、栗は誰のんでもないもんだと思います。山とかで誰かが栗を落としていったときに、ごんがそれ拾って、穴とかで育てていたと思うから、どっさり拾ってきた栗はごんのだだと思います。
のぞみ	もしごんが人のもんを盗ってきたら、また兵十が怒られると思うから、 ごんはそういうことはいわし屋のやつでわかっ とるから、ごんは穴のところに おる から、山の近くやから、そこらへんから拾ってきて、兵十に持ってきとるんだと思います。
T	人の物を盗って渡しても、結局は迷惑になるということはわかっとるんやね。だから多分誰の物でもない栗を届けたっていうんやね。じゃあ、まだの感想聞かせてくれる？
みなみ	ごんはいいことをしているけど、ダメなこともしていると思います。ごんは兵十にわざとやったんじゃないからいいと思います。でも、なんで、いわし屋に気付かれたのかな？と思います。それに兵十がいわし屋になぐられてからも、恐れず、ずっと栗を置きに行ったから、それはすごい勇氣あると思いました。
T	みなみさんもみゆさんも勇氣があるから届けとるんやって言うんやけど、そこはまた後で考えたいんやけど、今 いわし屋はなんで気づいたんや ろって言ったね。 なんでいわし屋は兵十を酷い目にあわしたんだろ？
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>兵十の立場を考えさせるつもりでこのことについて考えさせました。そして偶然が重なって兵十の家に鰯が見つかったのではないかと考えが出てきました。その後以下のように続きます。</p> </div>	
だいが	兵十はたぶんそのときは家に入ってなくて、全然分からなかったから、「僕は何にもやってません」って言ったと思うけど、いわし屋が言葉で押さえつけたんだと思う。
りゅう	いわし屋は、兵十は「違う」と言ったけど、いわしがここにあるからお前やと思って、殴ったんだと思います。
みなみ	いわしとかがあって、それが前買ったいわしとかじゃなくて、新鮮な鰯やったから、なんか暴力とかふるったんだと思う。
あやね	兵十は いわし屋が来たときに「やってない」 って言ったと思うけど、いわし屋は兵十の家に鰯があったから、兵十がやってないわけではないと思って、殴ったんだと思います。
T	やってない、やってない、知らん。と言うとんのに、酷い目に遭わされるわけやろ？このことについてあんたらはどう思う？
だいが	ちょっと可哀想だと思うし、いわし屋もちょっと減ったぐらいだから暴力をふるうことはないと思う。
T	君らが兵十の立場だったら？してないのにやられる。これはどう？
りゅう	最低やん。
ゆい	自分の立場だったら、嫌っていう気になるし、なんで いわし屋の奴に酷い目に遭わされなくちゃならんのか と思う。
T	じゃ今度は自分じゃなくて友だちの立場だったら？この中の誰かが、してないのに いわし屋に責められとる 。それを見たらどう？
だいが	ぼくやったら、友だちやったら、なんで盗ってないって言うとんのに、殴りかかっ とんのか

りゅう のぞみ	いwash屋の人に言う。 そのやってないと言う人が本当にやってないのか分からないから、信用ができない。 友だちがやられとるときでは、見とるだけやから、何があったのかもわからないし、やってないって言って、言い訳っていうか、言っとるだけかもしれないけど、やってないって言っとるのに、やっとなる、やっとなると言われて、なんか殴られているのは、傷まで負わされているのは、なんか可哀想。
あやね	のぞみさんとほとんど同じだけど、そんなときに見とっただけで、なにがあったかもわからんから、本当にやってないのか分からんけど、やってないと言うとんのに、傷までつけられたりしとんのは、可哀想だと思います。
T	読み過ごしてしまいそうなところだけど、兵十はやってないと言ってるはずだけど、いwash屋にやられとる。兵十はあんまり強い立場にないみたいやね。どちらかと言うと非常に弱い立場にあるような。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">兵十の弱い立場を考えさせるつもりでしたが、鬨屋の横暴さに目がいったようでした。</div>

3月3日（木）4限 「ごんは勇気があるから償いをするのか、続けるのか」

T	感想の続き行こう
ゆい	私はごんは松茸とかを兵十にあげて、ごんは優しいって思うけど、兵十は困っていると思います。それはたぶん食べ物とかをごんは兵十に毎日あげていると思うけど、兵十もそんなに食べ物とかはいらなと思うし、兵十は今一人で暮らしているから一人で食べれないと思うから、食べる物は毎日はいらないと思います。
あやね	ごんはうなぎのことで、すごく後悔していたから、いwashをあげれてすごくほっとしていたと思います。でも兵十のひとり言を聞いて「また兵十に可愛いそうなおことをしてしまった」って後悔して落ち込んでいると思います。ごんは栗の痛みも忘れるぐらいに、兵十の喜び顔が見たかったのに、すごく悲しかったと思います。それから、いwashのことで兵十にかえさないといけないって思って、すごくがんばって兵十にかえしていると思います。ごんはこのとき、自分のことをあまり考えずに、兵十のことばかり考えているような気がします。
T	これはショックだったろうねえ、ゆうきさんも似たこと書いてたよね。あやねさんは、このときのごんは、兵十のことばかり考えているような気がします。って言うんだけど、みんなはどう思う？
だいが みゆ	寝よとかそんなこと考えるとき以外は、ずっと兵十のことを考えているような気がします。ごんは自分のことは生活できたらいいやぐらいに思っていて、兵十のことをすごく考えていたと思います。
みなみ	ごんは自分のことを少しは考えているけど、ほとんど兵十のことばかり考えていると思います。
T	ほなみさんの感想聞かせて。
ほなみ	ごんは兵十に嫌がらせをするためにいwashを投げ込んだんじゃないのに、兵十にかすりきずとかができていたから、しまったと思ったし、ショックだったと思います。ごんはいwash屋

	<p>のいわしを盗んでも兵十にあげたかったから、私は読んでいるとごんがかわいそうに思えてきました。ごんは兵十がいわし屋になぐられたから、渡す勇氣はそんなになかったと思います。兵十は前にいわしを置いていって、また栗を渡したら、前にいわしを置いていったやつだと思われるかもしれないから少し怖かったと思います。</p>
T	<p>この場面を読んで、ええきつねやなあと思う人もいれば、ほなみさんはなんか可哀想になってきた、あやねさんは、ごんは自分のことを全然考えてないんじゃないかと思えてきた。っていうんやな。</p>
りゅう	<p>ここでちょっとみんなに聞きたいのはさ、ごんは勇氣があるから栗を持って行けると言う人がいるんだけど、みんなはどう思ってるの？</p>
りゅう	<p>勇氣とかじゃなくて、ごんは兵十にお礼がしたいという気持ちがいっぱいあると思うから、毎日毎日届けるんだと思います。</p>
だいが	<p>そんなに勇氣とかはなかったと思うけど、誰にも見つからないように、兵十の家に行くと意識はあったと思う。</p>
T	<p>確かに見つかった場合は怖いやろね。</p>
C	<p>うんうん。</p>
T	<p>ほなみさんが言うには、見られたら、鰯を置いていったのもばれるかもしれない。それに散々今までしてきたことがあるもんな。りゅうたくんは、お礼と言ったけど、そうだった？</p>
C	<p>償い。</p>
こうだ	<p>村に行ったりするのは勇氣が要るけど、うなぎをとってきてしまった償いがしたくて、どうしてもしたくて行っているんだと思います。</p>
まさや のぞみ	<p>勇氣はそんなにないけど、村に、償いを持って行くのは、なんかさっさと隠れるような。私は勇氣はないと思うけど、兵十に元気になってほしい。自分では謝れんけど、謝りたい気持ちだと思ってるから、勇氣がなくても謝りたい気持ちがあるからそこへ行くんだと思います。</p>
あやね	<p>兵十に悪いことをしたと思っているから、村へ行くのは怖いけど、償いをしたくて、何か兵十にやってあげたいと思って、行くんだと思います。</p>
みなみ	<p>ごんはうなぎの償いがしたくて、村へ来るのは怖かったけど、自分で殺されるかもしれないって思ったけど、それにうなぎの償いに栗とか持ってきたから、えっ、・・・。</p>
T	<p>ごんがらがってきた？また後で言って。</p> <p>今までのを聞いていると、勇氣とかじゃなくて、どうしても持って行きたかったっていう思いがある、っていうんやね。償いの気持ちだけで、毎日毎日も続くんやろうかな？</p>
りゅう	<p>物が勿体なくなる。1回だけでいいと思う。1回でどっさり持って行く。</p>
こうだ	<p>何日もやとったら、自分の体が持たへん。</p>
だいが	<p>償いにしては、やりすぎじゃないかなと思う。</p>
りゅう	<p>まあ、された方は嬉しいよな。</p>
T	<p>この時代はスーパーなんかもあらへんし、食料もそんなになかったはずだから、もらえるのはありがたかったはずやよ。</p> <p>ごんはどうしてそこまでしているんだろうかね。考えてよ。</p>

こうだ	兵十のおっかあはごんのせいで死んだわけではないけど、兵十を一人ぼっちにしまったし、ごんは一人ぼっちで兵十の気持ちをちょっとは分かると思うから、ずっと償いというか、物をあげたりしているんだと思います。
だいご	ごんは償いとしてではなくて、途中から償いではなくて、ごんはずっと一人ぼっちだったから、兵十の一人ぼっちの辛さが分かるから、ちょっとでも役に立ちたいと思って、食料を運んだんだと思います。
りゅう	ごんはうなぎをとって、兵十のおっかあが死んだって誤解しているけど、食料を持って行っていくのと死ぬのは、死ぬ方がいいと思ってずっと持って行っている。
みなみ	ごんはそれだけ気持ちが強かったんだと思います。兵十のお母さんは僕のせいで死んだって思っていると思うし、命はお金で買えないから、その責任感を感じていると思います。
T	ちょっと確認したいのはP70ね。「兵十はおっかあにうなぎを食べさせることができなかつた～しなけりゃよかった。」食べさせられなかったことを後悔しているんやよね。
ゆい	ごんはそれだけ兵十のことを思っているから、栗とかを届けているんだと思います。
T	その思っているというのを詳しく聞きたいんだけどな。
みゆ	ごんは兵十のお母さんのことだけじゃなくて、一人ぼっちに、、うなぎを食べさせてあげたら、すっきりした気持ちになったかもしれないから、、それで毎日あげているんだと思いました。
あやね	ごんはそれだけ兵十のことを思っているんだと思いました。反省したり後悔したりする気持ちが強かったんだと思います。これはしっかり償わなきゃいけないと思って、兵十にどうしても何かあげたいっていう気持ちになって、栗とかをあげていたんだと思います。
ほなみ	兵十のお母さんが死んでから、兵十はお母さんが死んで寂しいから、魚を捕ろうとかもうそういうのが嫌になってきたから、もう魚を捕ろうんしやんとずっと家においたら、兵十は貧しい生活をしとるから、ごんがそれを知って、食べ物とかを毎日渡してるんだと思う。
まさや	ごんは償いをしていて体はもたないと思います。
ゆうき	ごんは疲れていると思うけど、兵十のために栗を渡しに持ってきていると思うから、僕は兵十がちょっと嬉しくなると思う。
のぞみ	二人とも、ごんも兵十もひとりぼっちで、ごんにとっては仲間ができたと思ってると思うけど、私は兵十を家族だと思って償いでやってると思います。
T	ごんにとっては兵十は仲間。家族にさえも思えてくるんじゃないかって。

3月5日（金）3限 4の場面「兵十と加助の後をつけるごんについて」

あやね	見つからないように隠れて、誰が来るかを見てると思います。
T	なんでごんは隠れるん？
だいご	こん時は誰が来るか分からなかったから、ばれたらちょっと危ないことになりそうだと思うけど、じっとしていたんだと思います。
ゆい	見つかったら危ないと思って、ごんはじっとしていたんだと思います。

T	どうしてごんは危ないの？
みゆ	兵十はごんのことを悪いきつねだと思っているから、見つかったら追いかけられたりするかもしれないから。
のぞみ	兵十はごんのことを知っていて、ごんはきつねだし、兵十たちの近くにいるから、何かを企んだかなと思って、ばれたら何でここにおるんや、また何か企んだかって追いかけてくると思うから。
あやね	私は二人とはちょっと違って、ごんはじっとしているときは、まだ兵十が来るとはわかってなかったと思うけど、人に見つかったら悪いことをされると思ったんだと思います。
みなみ	ごんは兵十じゃなくても、見つかったら叩かれたりすると自分では思っとるから、じっとしていたんだと思います。
ゆうき	ごんは周りの人にいたずらをしていて、誰かに見られたら、殴られたりされるから隠れている。
T	このときのごんは悪巧みしてないよな？それでも隠れやなあかんってどう？
だいて	最初はふざけていたずらをしていたと思うけど、それでいろん人に憎まれて、こんなときでも隠れやなあかんから、ちょっと可哀想。
りゅう	ごんは自分自身でいたずらをして、みんなからは悪いきつねだと思われとるから、それはいたずらをしたからやで、いたずらをしなればよかったのにとおもいます。
みなみ	ごんは辛いと思うけどしょうがないと思います。ごんは自分でいたずらをして、みんなに憎まれとるから、悪いきつねだと思われとると思うし、自分でも悪いことをしたと思っているから、毎回毎回隠れとるんだと思います。本当は辛いんだと思います。
ゆうき	僕はごんが可哀想だと思います。理由はいたずらをいろん人にしていて、ごんは悪いきつねだと思われていて、それでごんを助けてくれる人が誰もいないから、とても可哀想だと思います。
	(音読) 兵十と加助の会話
T	ごんは二人の後をつけていきました。ここはどう思う？
こうだ	ごんは自分のことを言っていると思っていると思います。それでごんは自分でいいことをしたと思っているから、褒めてもらえると思って、話を聞きにいったんだと思います。
だいて	僕は兵十と加助が話しているうちに、ごんの前を通っていったんだと思います。それでごんは話が聞きたくて後をつけていったんだと思います。
りゅう	ごんは兵十に栗や松茸を自分であげているから、それで誰があげたんだろうという話になって、自分があげていると思って、誰があげたことになるのかなあとと思っているから、神様になってびっくりした。
まさや	ごんはもっと話を聞きたくて、後をつけていったんだと思います。
あやね	ごんは道の片側に隠れて、兵十と加助の話していることを聞いていたら、栗や松茸を持ってきているのは、ごんだから、兵十がごんのやっていることをどう思っているかを知りたくなって、それで話が聞きたくなってついていったんだと思います。
みなみ	ごんは見つかったら大変とか思っていたかもしれないけど、兵十と加助の話を聞いていたら、ごんの前を通り過ぎたぐらいに、それが話の途中だったと思うから、その話の続きが聞きたいと思って、二人の後をつけていったんだと思います。

みゆ	ごんは暇やったから、兵十と加助の話していることが面白そうだから、ついていったんだと思います。それに兵十と加助の話は自分がやっていることだから、兵十が何て言うかとか、何て思っているのか、知りたかったから、二人の後をついていったんだと思います。
T	今ごんの気持ちを言ってくれたね。そんなごんの気持ちについてどう思う？
りゅう	僕だったら、ごんと一緒にその続きの話を聞きたいから、僕もごんと一緒について行く。
こうだ	僕も同じで今は暇だから、ちょっと楽しそうかなと思って、ついていく。
だいが	僕は夜はちょっと暗くて怖いけど、やっぱり話を聞きたいから、ついて行くと思います。
ゆい	私は別に話を聞かなくてもいいかなと思います。
のぞみ	私は話を聞きに行きたくなるけど、私は夜暗いから嫌やけど、でもごんみたいに何か兵十のこととか気になって、つけていきそう。
ほなみ	私はごんやったら、ついていくと思います。夜も暗いし、危ないと思うけど、夜やから兵十と加助にそんなに気づかれないと思うから、ついて行くかなと思います。

3月7日（月）4の場面～5の場面 「兵十の影法師をふみふみ行くごんについて」

T	兵十と加助についてどう思う？
みゆ	兵十はそんなこと他の人にはあんまり話さんと思うから、二人は仲がいい。
こうだ	兵十と加助は仲がいいと思います。
だいが	兵十は加助と仲がいいから、こういうことは初めて話したんだと思います。
T	ごんってさ、兵十のことどう見ていたんだっけ？
みなみ	ごんは兵十のことをごんもひとりぼっちで、兵十もひとりぼっちで、俺と同じ一人ぼっちだと思っている。
だいが	今は友だちと話しているけど、ほとんど一人ぼっちだから、自分と同じ一人ぼっちだと思っているんだと思います。
T	ごんの一人ぼっちと兵十の一人ぼっちって同じなんやろか？
こうだ	ちょっと違うと思う。
のぞみ	ごんは元々一人ぼっちで、兵十はおっかあと二人きりだったけど、おっかあを亡くしているから、ちょっと違うかな。
みゆ	ごんは家族がいなくてずっと一人ぼっちだけど、兵十は家族はいないんだけど、友だちとかはいる。一人ぼっちは同じだけど違う。
だいが	ごんはずっと知り合いとかもないけど、兵十は家族がいなくて、知り合いとか友だちもいるから、ちょっと違うと思います。
T	じゃ続き。加助がひょいと後ろを見ましたってどんな感じ？
だいが	ごんはびくっとなって小さくなりました。ここはどう？
だいが	二人は今まで気付いていなかったから、もし気付かれたら大変なことになると思って、びっくりしたんだと思います。
みゆ	加助に気付かれたと思って、びっくりしたと思うし緊張したと思います。
ゆい	ごんはびくっとしてって書いてあるから、ちょっと慌てとる感じだと思います。

T	でもごんはオロオロとはしてないよね。小さくなって立ち止まりましたって。どうして小さくなったんやろ？
みなみ	ちょっとでも兵十とか加助に気付かれないうに小さくなったんだと思います。
T	そんなんやったら付いてかんだらええのにな。みんなはどう思う？
みゆ	どうしてもっていう感じで聞きたかったから、付いてきたんだと思います。
だigo	ついて行かんでもええのになと思うけど、ごんの場合は絶対に話を聞きたくてついて行ったんだと思います。
T	絶対っていうんだね。
みなみ	私は聞かんでもいいと思うけど、ごんは、ごんの話がされとるから、そういうのとかで絶対に聞きたくて付いていっとるんだと思います。
T	じゃその続き。(音読)
T	お念仏があるんだな。・・・井戸のそばにしゃがんでいました。ここはどう？
だigo	ごんはこの時からお念仏が終わったら、兵十の後をついて行こうと思ったんだと思います。
T	お念仏って聞いたことある？長いのは1時間ぐらいもあるんやよ。夜にお念仏待っていて、井戸のそばにしゃがんでいるでしょ。そんなごんについてどう思う？
あやね	お念仏は長いけど、その後兵十が話す内容が聞きたくて、気になったから、ずっとしゃがんでいたんだと思います。
だigo	僕なら薄暗いところじゃなくて明るいところに行くけど、ごんはばれたらアカンから暗いところで、どうしても兵十たちの話を聞きたいから待っていたんだと思います。
みなみ	井戸から出て来るお化けとかの本とかもあるから、私は怖いと思うし、井戸は水だから寒いと思うから、家のそばの見つからんところにおると思います。
T	季節はいつだったけ？
C	秋
T	秋の夜ってのは、やっぱり寒いかな？そんな寒い夜に井戸のそばでしゃがんで待っているんか。暖かいところには行かれへんのやな。
のぞみ	私はごんは明るい昼とかだったら人がいっぱいおって、怪しく思われるかもしれんけど、夜やから、なんかその話が気になってしょうがないから、寒いかもしれないけど、一番ばれにくい夜だから、待つて話を聞こうとしているんだと思います。
	(音読) ごんはお念仏がすむまで～
T	ごんは兵十のかげぼうしをふみふみ行きました。はどう？
	ここ場面の様子はイメージしにくいようでした。夜に歩く経験があまりないのでしょうか。次のような発言が出てきました。
みなみ	夜は暗いから影法師にごんがいても暗くて、後ろを振り向いても暗くて分からないと思っていると思うから、影法師をふみふみ行ったんだと思います。
だigo	僕は影法師をふんでいるということは、結構近いところまで行っていると思うから、結構度

	胸があるなあと思いました。
みゆ	話し声がそんなに大声で喋ってないと思うから、近くにいかないと聞こえなくなると思うから、兵十の影法師だから、急に離れたり近づいたりしないし、夜だから見にくいし大丈夫だと思っているんだと思います。 途中で情景を確認しました。
だいご	ごんは勇気があると思います。月のいい晩なら明るくて、周りも見やすいと思うから、兵十の影法師をふんで行くってのは、もの凄く兵十に近いってことだから勇気がないとできないと思うので、ごんは勇気があると思いました。
ゆい	加助と兵十の話がすごく聞きたくて、兵十に見つからないように影法師をふみふみ行ったんだと思います。
T	影法師をふんでいたら見つかりにくいんだっけ？影には隠れれへんのよ。
ゆうき	ごんは兵十の近くにいる、普通なら見つかってしまうかもしれないけど、兵十たちが話している栗の話が気になって、兵十の影法師をふみながら聞いていたんだと思います。
りゅう	ごんは草陰に隠れて近くに行くのなら分かるけど、兵十のすぐ後ろに立って、なんかーか八かでいっているような気がします。
T	確かに草に隠れるのなら見つかりにくいよな？音はするかもしれないけど、兵十の影法師をふみながら行くにはなんか意味がありそうやな。
のぞみ	私はなんか兵十の影法師をふみながら行くのは、自分がやってるよってわかってほしい感じがする。
みゆ	二人のすぐ後をつけたら見つかりやすいのがわかってなくて、ついて行ってんだと思います。
あやね	私は見つかりやすいとは気付いていると思うけど、兵十の話していることが聞きたくて、近くじゃないと聞こえなかったから、影法師をふみふみ行ったんだと思います。
T	もう一度確認させて。影法師をふみふみ行くにはなにか意味がありそうだよ。のぞみさんは何て言ったっけ？
のぞみ	自分だよって、ごんは伝えたかった。
T	伝わるわけではないんだけど、そんな気持ちが出てるっていうんだね。みんなはどう読む？ただ単に近くで話が聞きたかっただけなんだろう。
みなみ	私はのぞみちゃんとほとんど一緒に、ごんは見つかるっていう気持ちもあったけど、ごんはちょっとは見つかりたい、、分かってほしくて、アピールをしとるんだと思うけど、ごんは分かってくれんとはちょっとは思っとるけど、もしかしたら分かってくれるかもしれないという気持ちもあって、必死にアピールをしていたんだと思います。
だいご	伝わるかどうかは分からないけど、兵十の影法師をふみながら自分が栗や松茸を置いていっているんだというテレパシーみたいなを送っている、、と思います。
こうだ	絶対に伝わらないけど、自分がやってるって、ごんは伝えたくて、もう絶対に伝わらないけど、なんか、、ごんは伝えたくて、影をふみながら行っているんだと思います。
T	みんな読んでいるんだから、自分はこう読むってのを出してほしい。それがなきゃみんな読んで読む意味がない。・・・

まさや T あやね りゅう T	<p>テレパシーとかは送れないけど、何か意味があるん。 じゃその意味は何なのかを考えてほしいんさ。 ごんは兵十の話も聞いたかったし、最初にごんがしたことをわかってくれやんとは思ってたけど、もしかしたら分かってくるかもしれんて、アピールをしていたんだと思います。 ごんはどうしても、僕がやったぞっていうのを見せたくて、後ろに行ったんだと思います。 先生は影法師をふみふみっていうのは、自分がやったってのを伝えたいというよりは、とにかく兵十が好きだっていうの伝わるような気がするんだけどな。もちろんそれはその人の自由。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">影法師をふみふみ、愛しさの表れとは一人も思わないものなのではないでしょうか</div>
T だいで みなみ りゅう のぞみ あやね ほなみ T ゆい T だいで りゅう こうだ T だいで みなみ T こうだ	<p>(音読)</p> <p>兵十の「うん」ってさ、どんな感じの「うん」だと思う？ わかったっていう感じと納得したような感じ。 私は違って、ちょっと疑っとる感じの「うん」だと思います。 軽い感じの「うん」。心の中では違うと思っても、加助にはまあ、って。 神様だよって言われて、違うなと思ってるけど、なんか加助が言ってるから、適当にうんって言うとする感じ。 兵十は加助が言ったことは、そうやと思って、こそそれからそうしようと思ってるんだと思います。 兵十は加助をあんまり信用してなさそう。 ここでは信用してないっていうんやね。 私はうんと言うのは、ほなちゃんと似ていて、兵十は加助をあんまり信用してなくて、わかったっていう感じなんだと思います。 みんなはこの二人の会話を聞いていて、そうそうとか、そうじゃないよとか、どんな感じがする？ 本当はごんがいろんな食べ物を兵十の家に届けているのに、知らないから仕方ないかもしれないけど、神様の仕業って言っているから、ごんが可哀想な感じ。 加助は普通に考えて、考え方がおかしい。 普通に神様はそんな物をあげたりとか、そんなことはしないから、加助の考え方はおかしいと思う。 兵十にしたら全然わからんのやよね。加助はどうもそれは人間じゃないって言うよね？言い切ってるよね。なんでそこまで言い切るんやろな？ 人間とかやったら、足音とか絶対すると思うけど、神様とかだったら浮いているような感じだから、できるっていう風に思って、加助は神様の仕業って言ったんだと思います。 人間やったら、兵十に栗置いてくよとか、鱒置いてくよとか言うと思うから、加助は人間じゃないって言い切るんだと思います。 普通なら置いてくと言う。 人間だったら、置いておくよとか連絡が来ると言うから、何にも連絡が来ないから、話が出</p>

兵十と加助の
会話について

あやね	来ない奴だと加助は思ったんだと思います。
のぞみ	私は人間だったらいいことをしているんだから、置いてくよと言うと思うし、毎日もだったら見つけると言うけど、見つかってないし、何にも分からんから、人間じゃないと思ったんだと思います。
みゆ	人間だったら、兵十に言って、わからんまま渡すことはないと思うから、このままなら兵十は分からん内に置いていっとるから、人間はそんな感じじゃないと思うから、神様だと思ったんだと思います。
T	人間やったら、栗とか松茸は高級だと思うから、そんなに毎日とか持って行ったら自分家の食料とかがなくなると言うから、あんまりそういうのがいらん生き物とかと思ったんだと思います。
T	確かにこの時代には食料なんてそんなにはない。だからそう思ったのかもしれない。りゅうたくんもこうだいくんも加助はおかしいと言っていたけど、そう考えても仕方がなかったのかもしれない。最後に「二人の会話について」を書いて。

3月8日（火） 5の場面 「二人の会話とそれを聞いたごんについて」

T	「二人の会話について」思ったことを紹介してもらおうか。
だご	ぼくは二人の会話を聞いて、ごんがかわいそうに思います。せっかくごんが毎日毎日、栗や松茸を兵十の家に持っていっているのに加助は神様の仕業と言っているので、ごんがかわいそうに思えます。それに神様ならみんな平等に暮らしてほしいと思っています。なので一人だけにいろんなものを恵んで下さることはないと思います。
T	だごさんとしては、ごんがやっていることがわかるから、それが神様の仕業と言われるのが可哀想というんやね。
みゆ	加助は兵十の相談みたいなのを真剣に考えて、二人はとっても仲がいいと思います。兵十は仲がいい人くらいにしか話さないと思うし、加助も兵十のことを思ってなかったら、真剣には考えないと思います。だから、二人はとっても仲がいいと思います。
みなみ	私は兵十が加助に話すってことは、困っていると思います。兵十はめったに悩みごとを親友とかでも話さないと思うから、栗や松茸のことをすごく不思議に思っていると思います。ごんはいいことをしたと思っているけど、本当は兵十を悩ませていると思います。それに加助が「神様のしわざだぞ」って言って、兵十は「うん」っていったけど心の中では「神様かなあ」って思っていたと思います。
ゆい	私は加助が「神様にお礼を言う方がいいよ」って言って、兵十は「うん」って答えただけど「うん」って答えなかったほうがよかったんじゃないかなあと思います。それはごんはその話を聞いていて、私はごんはかわいそうだと思います。
T	みなみさんは兵十の「うん」は納得してない感じで、ゆいさんはごんが聞いとるのに、それはないやろって言うんだね。でも兵十はごんが聞いとるなんて
だご	知らない。
ほなみ	兵十は加助が「神様の仕業だぞ」と言って、兵十は「うん」と答えただけど、兵十は加助の話

	<p>を信じてはいないと思います。私はこうだ君が言っていた加助の前だから「うん」と言ったんだと思います。兵十は少し困ったと思うけど、せっかく加助が自分のことじゃないけど考えてくれたから、教科書には書いてないけどうれしかったと思います。兵十は優しいと思いました。</p>
のぞみ	<p>私は兵十と加助が思っていることは違うと思います。加助の思っていることは違う感じがしていると思うから、兵十はなんとなくで「うん」と言ってる感じがしました。でも私は加助の言っていることは全然違うとは思いません。</p>
りゅう	<p>ぼくが兵十なら加助が神様と言った時点で「違うやろ」と言うけど、兵十は「うん」と言っているから、もうちょっと考えたらと思いました。</p>
T	<p>りゅうたくんは神様を信じてないんやね。兵十は神様の仕業だって本当に思ったのかな。</p>
まさや	<p>思っていない。</p>
T	<p>でも、うんと言ったのはみんなが言うように加助の前だったからかもしれないし、そこはみんながどう読むかだよ。</p>
まさや	<p>加助はちょっと頭が悪いと思います。「さっきの話は、きっとそりゃあ、神様のしわざだぞ」って加助は思っていて、ぼくは毎日毎日神様がまいおりてくるわけないから加助はちょっと頭が悪いと思います。</p>
りゅう	<p>へへっへ</p>
T	<p>りゅうたくんと似た感じかな？</p>
こうだ	<p>僕も加助は頭が悪いと思います。神様は降りて来うへん。</p>
ゆうき	<p>兵十の話を聞いて加助はそんなことをしてくれるのは神様しかいないと思っているから、加助はちょっと頭が悪いと思いました。ぼくが兵十だったら神様がしてくれるわけないと思います。ごんはその話を聞いてごんは少し悲しくなったと思います。</p>
T	<p>加助の頭が悪いと思おうかどうかは君たちの自由。</p>
あやね	<p>加助は兵十が相談したことを真剣に考えていると思います。兵十が相談したことをずっと考えていた加助はいい人だと思います。加助は栗や松茸を持っていっているのは神様だぞと言っていて、私も何も知らなくて相談されたら神様だぞと思うと思います。でもそこで、兵十は「そうかなあ」と言っているから何だと思っていたのかなと思います。私は兵十は神様をあんまり信じていなくて、何かはわからないけど神様じゃないと思ったんだと思います。</p>
T	<p>確かに兵十は納得してなさそうだもんね。だけどこの状況なら、あやねさんだってそう思ってしまうっていうんだね。そう思わないっていう人もいたけど、みんなはどう？</p>
だいて	<p>加助は頭が悪いってところまではいかんと思うけど、なんかちょっと考えすぎてるような感じがする。</p>
T	<p>5の場面。(音読)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">仕方がないのはわかるが、それでもごんが可哀想と続きます。</div>
まさや	<p>神様に礼を言うんじゃ、俺は引き合わないな。ここのごんについてどう思う？</p>
だいて	<p>ちょっとごんが可哀想。</p> <p>ごんは今までいたずらをしてきて、急に兵十の家に栗や松茸を届けているので、神様だと思われるのは仕方がないと思います。</p>

T	ごんじゃなくて神様と思われるってことね。
みなみ	ごんは可哀想だと思います。理由は、一生懸命栗や松茸を、栗を拾ったりして、松茸の場所はわからないと思うから、一生懸命探したと思うし、栗はある場所は知ってるけど、一生懸命拾ったと思うから、可哀想だと思います。
こうだ	ごんはがっかりしていて気付かれなかったから、ごんがしていることはわかってもらえなかったけど、それはしょうがないと思うけど、僕は可哀想だと思います。
みゆ	最初は栗とか持ってきて、兵十が喜んでくれたらいいなとか思っていたけど、兵十が神様にお礼を言ったら、ごんが持って行っていったのに神様にお礼を言うんだったら、めんどくさくなって、もうイヤになった。
あやね	ごんは兵十の喜ぶ顔が見たくて、栗や松茸を持ってくるのが楽しみだったと思うけど、これから兵十は神様にお礼を言うから、自分がやっとなのに神様にお礼を言うのがちょっと嫌で、もう栗や松茸を持ってきたくなくなりました。
ゆい	私はごんは可哀想だと思います。理由はごんが栗や松茸を持ってきているのに、兵十は神様にお礼を言うからです。
りゅう	加助とかが神様と言うのは仕方がないと思います。理由は、ごんは今までいたずらをしてきて、松茸とかを持ってくるようなきつねじゃないとみんなが思っているから、きつねだと思う人は絶対にいないと思います。
	(音読)
T	このごんの台詞はどんな感じがする？
りゅう	ちょっとショックだった。
みなみ	ごんはするいと思ったと思う。ごんが栗や松茸を持ってきているのに、それを兵十が知らなくて、俺にじゃなくてなんで神様にお礼を言うんだよ。俺にも礼を言ってほしいと思っています。
T	自分にも礼を言ってほしいか。
だいで	ごんはちょっとすねているような感じがします。
まさや	ごんはすねているような感じがするし、ため息ががが出るような感じがしとる。
T	ごんはお礼を言われたくて、栗や松茸を持ってきとったんやろか。どう思う？それを書いてよ。
こうだ	ごんはうなぎの償いで、栗や松茸を兵十の家を持ってきているから、お礼を求めてはいないと思います。
みなみ	ごんはうなぎの償いに届けていたと思います。だからお礼は求めていないけど、少しでいいからごんにお礼を言ってほしかったんだと思います。お礼を言ってほしかったし、神様の仕業だぞって言った加助に腹が立つと思いました。
ゆうき	僕はうなぎの償いに栗や松茸を持ってきているから、お礼は求めていない。 ごんはお礼を求めてやっているわけじゃないけど、毎日持って行ってあげるから、1回か2回ぐらいはぐらいは褒めてほしいと思っている。
だいで	ごんは兵十が捕ったうなぎをとってしまったことの償いとして、栗や松茸を持っていったん

	だと思えます。だから栗や松茸を持っていったら、お礼があるとかお礼がほしいから栗や松茸を持っていくなんて思っていないと思えます。
T	うなぎの償いから始めたんだっていうのは共通しているね。違うのは、だからお礼は求めている、そうは言ってもお礼は言ってほしいというところで分かれるんだね。
のぞみ	ごんはお礼を求めているとは思えません。理由はごんはうなぎの償いで謝りたい気持ちと兵十がわかってくれたかなと思えていると思うから、お礼は求めていると思えます。
T	兵十がわかってくれたって何を？
のぞみ	神様じゃないってことを、自分がやっとなんかということ伝えてたい。 だから分かってもらえなくても別にいい。
あやね	ごんはお礼を求めているわけじゃないと思えます。でもごんは自分がやっているというのは、分かってもらえないって思っていて、お礼を求めているわけじゃなかったんだけど、それよりも自分が兵十に悪いことをしてしまったから、謝りたいっていう気持ちが強かったと思えます。でもいいことはしているから少しは自分がしたことを気付いてほしかったんだと思えます。
ほなみ	私はお礼を求めてないと思えます。理由はごんはうなぎの償いに栗や松茸を持ってきているから、求めてはないと思えます。ごんはせっかく反省して毎日食べ物を持ってきて、兵十がお礼を言うと言ったから、すごくショックだったと思えます。
T	求めてないんだけど、違う人にお礼を言うというのはショックを受けるっていうんやな。
ゆい	私はお礼を求めていると思えます。理由は兵十は神様にお礼を言うと言っているけど、本当はごんがやったんだけど、神様にお礼を言うからショックだったと思えます。
みゆ	私は最初はごんはお礼を求めてなかったと思えます。でも兵十に何もいいことしていない神様にお礼を言うんだしたら、ごんは嫌にもなったし、ショックだったと思えます。
T	はじめは違った。だけどだんだんと自分だと気付いてほしいという気持ちが出てきたというんだね。もしそうだとしたら、神様だ、と言われたら悲しいね。
	6の場面（音読）その明るる日も～ ごんは、もう嫌になったんじゃないかって君らも考えていたけど、また持って行ったよな？ なんでだろ？きつねが家の中に入ったではありませんか。なんでごんじゃなくて、きつねなんだらうね。なんでごんは家の中に入ったんだらうね。この3つを考えながら読んできて。

愛は一方的なものである

3月9日（水） 6の場面 「また届けに行くごん」「家の中に入るごん」

T	引き合わないなって言ってたごんなのに、また兵十の家に届けに行くごんってどう思う？
だいて	うなぎの償いで栗とかを持っていつているときに、兵十が気に入ったから毎日持って行くんだかなと思えます。
のぞみ	うなぎの償いから始まって、それだけやったらもう終わっとなんかと思うけど、いろいろ他にもいたずらとかをしとったと思うから、その償いとかもあって、ごんはいろんなことを、償いでやっとなんか。毎日毎日持って行ってると思えます。
あやね	私はごんは償いをしている内に、多分兵十のことが好きになってきて、兵十のために何かし

	たいてって思って、持って行ったんだと思います。
りゅう こうだ	兵十は一人暮らしだから、ごんは栗とかをやって、ちょっとでも助かったらなと思っとる。本ではまだ、兵十が一人ぼっちになってから、一人になってから麦をといでいるところしか載っていないから、外へ食べものをとりに行ったりしてないから、ごんはそれで、食べ物が必要ないかと思って持って行ったんだと思います。
みなみ	ごんはうなぎの償いから始まって、兵十にいろいろ迷惑とかかけとると思うから、そういうので毎日毎日栗とか松茸を持って行ってるとだと思います。
みゆ	昨日は明らかに落ち込んでいたけれど、うなぎの償いは消えてないし、兵十は可哀想だと思 って、持って行ったんだと思います。
ゆうき	ごんは兵十がいつも麦をといでいるから、うなぎを捕りに行かなくなったんだと思って、栗や松茸を持っていつているんだと思います。
まさや ゆい	なんかうなぎを盗んでしまって、その気持ちがまだちょっと残っているからです。 ごんは兵十を可哀想とか思っているかはわからないけど、私は多分可哀想と思っていると思うから、栗とかを持っていつているんだと思います。
T	どんなところを可哀想と思っているんだろ？
ゆい	お母さんとかが死んだときに可哀想って思って。
ほなみ	ごんは前は栗とかを持っていつているのに、その俺に礼を言うんじゃないで、神様にお礼を言うんじゃない、引き合わないなあって言ってるんだけど、まだうなぎの償いは、もうちょっと食べ物とかを兵十にあげやなあかんなあとか思ったし、兵十が可哀想だと思ったから。
T	今出とったのは、兵十が好きだから、兵十が可哀想だから、そういう思いで届けとるんじゃないか、というのが出た。いやいやうなぎの償いは終わってないんさ、だから行くんさ、っていうのと、いろいろ他にもしとるから、その分も償いをしとるんじゃないかっていうのもあったね。まず、ごんはいろいろいたずらをしとったよな？あれって全部兵十にだっけ？
だいで	いろんな人にしとった。
T	だけど兵十にだけ持って行くの？それって償いになるんかな、ちょっと考えてよ。
だいで	ごんは今までにいろんな人にいたずらをしてきて、兵十にだけ償いをやっているんなら、兵十にだけやったらいいけど、他の人には償いをやってないから、ごんはもうちょい他の人にも償いとして栗とか持って行った方がいいと思います。
りゅう	ごんは今までいたずらをして、そのいたずらされた人は死ななと思うけど、兵十はうなぎをとってしまったって、おかあが死んだから償いをずっとしているんだと思います。
まさや	他の人にもなんか悪いこととかしているから、他の人にも栗とか松茸を持って行ったらいいと思います。
T	でも、ごんは誰に持って行ってんの？
C	兵十
T	じゃずっとこれはお詫びなんかな？君らはこれを読んでいて、ごん、周りにも持って行けよと思っていた？そう思わんだってことは何かあるって感じていたからじゃないの？ ごんのなにがごんを動かしているんだろう。となりと考えるとよ。

りゅう	ごんは何回か行っている内に兵十のことが好きになって、それでなんか、毎日毎日お詫びを してしまっている。
だいで	ごんは何回かうなぎの償いとして栗を持っていっている内に兵十のことが気に入ったから、 兵十の家に毎日毎日栗とかを持っていっているんだと思います。
のぞみ	うなぎの償いに栗とかを持っていったけど、ごんはなんか今まで一人ぼっちだったけど、一 人ぼっちでいたずらばかりしていたけど、いたずらじゃなくて、兵十のなんか、友だちみた いになったっていうか、ごんにはその、仲間みたいな人がおるのが嬉しかったから、毎日毎 日おうちにいったと思います。
T	今まではいたずらでしか人と関われなかったけど、仲間になんかしてあげれるっていうそん な気持ちを味わっとるっていうんだね。こんな気持ちって今まで味わったことあったんやろ かね？
こうだ	なかった。
T	好きになったというのはそこらへんの思いもあったのかもしれないね。 音読（6場面）その明るる日も～
T	家の中に入ったんだよね。どこから
まさや	家の裏。裏口。
T	どうして
だいで	多分、兵十の家の物置は表戸の方にあると思うから、見つからんように裏口から入ったんだ と思います。
T	今までさ、ごんは家の中に入っていったことってあったんかな。調べてみようか。
みゆ	入ってないと思います。
だいで	何回か兵十の家に持ってきたことはあるけど、入り口とかにかためて置いておいたんだと思 います。
りゅう	裏口から覗きますと、と書いてあるけど、家へ持ってきましたただけしか書いてなくて、入っ たとは書いてない。
T	いわしのときはどうしたんだっけ？
C	投げ込んだ
T	ってことは、入ってなさそうやな。いわしの次の日は栗を持っていったんやんか、あの日は どうやったんやろ。
あやね	入り口に栗をかためて置いたと思います。
だいで	物置の入り口。
T	物置だから家じゃない。でも今回は家に入ったんやな。なんでさ、今まで家の中には入って いかなかったんやろ？3人組で相談してみて。
まさや	そのときは撃たれるって思って、中に入らなかった。
T	今までは撃たれるかもしれんと思って入らなかったっていうんやね。
あやね	今までは、家の中に入るのは、何されるかわからんって怖かったけど、兵十のことが仲間み たいに思えてきて、家族みたいに思って家の中に入ったんだと思います。

兵十の家の中に入るごんについて

だいご	家の中に入るときはだいたい兵十がいたと思うから、兵十に見つかったら酷い目に遭わされそうだから、兵十に見つからないように入り口とかに置いていたんだと思います。
T	今までは家の中に入ってない。撃たれるかもしれない。なにされるか分からん危険がある。兵十が家の中にいたんじゃないか。今回は中に入った。あやねさんは兵十のことを仲間に思っていたから、入ったんじゃないかって言ったね。みんなはどう？
りゅう	今までの理由は一緒。今回は違う。今までは何をされるか分からんから、外にいたけど、何回も行っているうちに兵十のことが慣れて、大丈夫だろうとちょっと油断したから。
みなみ	今までは撃たれるかもしれないって思っていたけど、だんだん兵十に栗とかをあげとるうちに兵十のことが前より好きになっと思うから、中に入っていたんだと思います。
のぞみ	私もあやねちゃんに似ていて、仲間って思っていたと思う。それともう一個あって、兵十と加助が話していたことをごんは聞いて、そのことをごんは、兵十は悪いことだと思ってないことがわかって、それでちょっと、別に悪くないなと思ったから、それで中に入っても別に、何にもされなかなって油断したんだと思います。
T	この前の晩には兵十と加助の話を聞いていたよな。この話を聞いていると、どうやら兵十は迷惑に思っていないな、それならもっと届けよう。家の中に入ってもいいんじゃないかって思ったんじゃないかって、のぞみさんは言うんだね。兵十と加助の話を聞いたからってのはありそうだね、ごんは話を聞いてなんと思ったんだろね。
りゅう	ごんはこの会話で神様と思っとる兵十に、違うよ僕やよって、家に入ってちょっと姿を見せて、栗をばあっと置いて逃げたら、兵十はごんがしたってことをわかってくれるから、姿を見せたかった。
だいご	りゅうたくんと似ていて、加助は栗とかを恵んでくれるのは神様だって言っていたから、ごんは自分だということを見せたかったから、家の中に入ってちょっと姿を見せたら、兵十もわかってくれるやろうって思ったんだと思います。
こうだ	兵十と加助の話を聞いていたら、悪いことをしているとは思っていないし、いいことをしていると、ちょっと褒められている感じの話だったから、しかも神様と間違われとるから、その次の日にちょっと姿を見せて、ごんやったんやとか思わせたかったんだと思います。
みなみ	この話は加助は誤解しているような感じで、嘘と思うんなら見に来るがいいさって書いてあるから、もしかしたら加助は見に来るかもしれないから、加助は神様が置いていったと言っていたけど、本当はごんがやっとるんやって加助に思わせたかったから中へ持って行ったんだと思います。
T	今まで警戒してきたのに、その話を聞いて、ちらっとでも姿を見せたいと思うようになった。だから中に入ったっていうんやね。結局どうなるの？
まさや	撃たれる。
T	見せたかった相手に撃たれてしまうんだね。 「今日のごんについて」書いて。

(ほなみ) ごんは兵十の家の中に入ったけど、ごんは兵十のことを仲間だと思っているかもしれないけど、兵十の方はごんが一人ぼっちのことを知らないと思います。でもごんは兵十のことが大好きとまではいかないけど、好きなんだと思います。ごんは兵十に、ごんがショックになることを言われたし、ごんも少し怒っていたけど、ごんは兵十のことが頭から離れないと思います。兵十までいなくなると仲間だと思っていたのに、また一人ぼっちでさみしいと思います。だから少しでも仲良くなりたくて、少し怖かったと思うけど勇気を出して中へ入ったんだと思います。ごんは何を言われても毎日あきらめずに栗とか松茸を持っていつているから、ごんは兵十と会って性格が変わったと思います。

3月10日(木) 6の場面 「感想の交流、兵十とごんの違い」

だいご	ごんは兵十と加助の話聞いて神様じゃなくて自分が栗や松茸を持っていつているということを知ってわかってもらいたくて、兵十の家の中へ入ったんだと思います。でも兵十はごんになぎをとられたことがあるから、ごんのことを「いたずらぎつね」としか思っていないと思うので、自分は兵十のことを気に入っていても兵十はごんのことを気に入っていないから、ごんは不注意だと思います。
こうだ	ごんはかわいそうだと思います。毎日栗や松茸を持っていつているのに神様がしていると思われたから、中へ入って自分がやっているということをお兵十に教えたかったのに、中へ入ったら火縄銃で撃たれて死んでしまったからかわいそうと思いました。でも、兵十はごんが栗や松茸を持ってきていたということに気付いたので、ごんはうなぎのつぐないのことを知ってもらえてよかったと思いました。
りゅう	ごんはかわいそうだと思います。理由は悪気は全然なくて、ちょっと兵十の家に入ったら殺されたって、兵十ももうちょっとごんをよく見れば良かったけど、ぼくも兵十と一緒にいたずらをしたきつねが来たら、またいたずらをしにきたなと思って殺すと思います。
まさや	ごんは兵十と完璧仲間だと思っています。ごんは銃で撃たれるのを恐れていなかったから仲間だと思っています。その後ごんは撃たれるからかわいそうだと思います。
T	可哀想というのがあるけど、こうだくんは最後に気付いてもらったから、まだよかったって言ってたけど、それは誰が？
こうだ	僕が思っとる、
T	りゅうたくんは自分も兵十のようになってしまふんじゃないかって。まさやくんはごんには撃たれる覚悟があったんじゃないかっていうんだね。 ごんはさ、撃たれるって思ってたやろか？
だいご	ごんは兵十が捕ったうなぎを盗んだから、兵十の家に行くときに兵十が仕返しをして撃たれるかもしれんという覚悟はあったと思うので、撃たれるとはちょっとは思っていたと思います。
ゆうき	気付かれたら撃たれるかもしれんて思っていたと思います。
あやね	ごんは毎日毎日兵十の家に行っているから、はじめに行ったときよりは慣れてきとるし、撃たれるとはあんまり思ってたなと思うけど、こっそり入っているから、ちょっとは思っ

	ていたと思います。
T	最初のころよりは自分の姿を出したらあかんていう気持ちは減っているけど、まだこっそり入っているじゃないかって。
みなみ	ごんは撃たれるっていう気持ちはなかったと思うけど、兵十に悪いことをした分、仕返しをされるっていう覚悟みたいなのはあったと思います。
T	姿を現したら何かをされると考えていたけど、撃たれるまでは考えてなかったんじゃないかってね。前回の話では、なんでごんは家の中に入っていったんだろって考えたけど、その前の晩の話聞いて、自分だと気付いてもらいたくて、分かってもらいたくて、そんな気持ちでそうさせたんじゃないかって考えたよね。気付いてもらいたいなあって言うけれど、気付かれたら、見つかったら仕返しをされる、そんな関係をみんなはどう思う？
だいご	ごんはいつも兵十の家に行っているけど、兵十の家に行ったらつねに撃たれそうになるから、可哀想。
まさや	兵十の家に行ったらつねに撃たれそうになるから、可哀想。
こうだ	ごんは兵十の前に出たら、仕返しをくろうと思っても、自分がしていることを知らせたいのに出れないから可哀想だと。
ゆうき	ごんは兵十の前に出たら、兵十は怒っているから、撃たれたりするから、ごんはちょっと可哀想。
みゆ	ごんは兵十の前に出たら、兵十に撃たれたりするから可哀想だと思います。
T	みんな、可哀想、可哀想ばかりだけど何が可哀想なの？どうしてあげたい？どうなったらええなと思うの？ 可哀想の中身がないような気がしました。
だいご	兵十は神様が栗とかを持ってきてくれると思っているけど、もしごんが自分がやっとなんやよって伝えたら、兵十も分かってもらえるから、いいなと思います。
T	伝えられたらいいのにというのが、だいごくんやな。じゃ、なんで伝えられなかったんやろ？
みなみ	ごんは兵十に対して、怖いという気持ちがあったから、なかなか言えなかったんだと思います。
T	出たくても出れやんというのやな。
だいご	出たくても出れやんというのもあるけど、もし出られてしゃべれたとしても、兵十に誤解されそうだから、伝えられないと思います。
みゆ	兵十の前に出れたとしても、ごんはしゃべれないから伝えられないし、手紙とかそういうのも何も出来ないから伝えられないと思います。
T	人前に出れない関係性、誤解されてしまいそう、しゃべることが出来ない。そういうことがあるんやね。 でも気付いてもらえてよかったんじゃないかって、こうだくんは言ってたけど、似ている人もいたよね。聞かせてくれる？
あやね	私はごんは兵十のことが好きだと思います。毎日毎日兵十の家に行っているうちに、兵十が身近な存在に思えてきて、兵十のことも家族みたいに思っていると思います。ごんは兵十にいいことをしているところを見てほしかったのに、いいことをしているって気付いてほしかったのに、兵十が見たのは家に入ったところだけで、いたずらをしにきたと思われて、撃た

T	<p>れて、ごんはすごく悲しかったと思います。ごんは兵十と仲良くなりたかったのに、撃たれたら、もう仲良くなって、遊んだりすることはできないからです。でも兵十は、ごんがしたって気付いたから、そのまま気付かれないより、ごんは少しうれしかったと思います。</p> <p>殺されるのは悲しいけど、それでも気付いてもらえなかったよりはよかったのかもしい。みんなはどう思う？</p>
だいご	<p>気付かれて殺される方がまだましだと思います。理由は一生気付かれずにいたら、なんか後悔すると思うけど、気付かれてから死んだら、すっきりして撃たれて死ぬから、やっぱりすっきりしてから、死んだ方がいいと思うので、気付いてもらってから死んだ方がいいと思います。</p>
りゅう	<p>僕も気付かれてから死んだ方がいいと思います。理由は折角やっているのに気付かれなかったら、お礼も何も言われなくても、気付かれたらちょっとはお礼を言われると思うから、気付かれてから死んだ方がいいと思います。</p>
のぞみ	<p>気付かれてよかったと思います。理由はごんは、多分気付かれてから、一生気付かれないよりは気付かれてから撃たれてまだよかったと思います。ごんは多分、一生気付かれないのは嫌だったと思うから、だから入って、気付かれて撃たれたんだと思います。</p>
T	<p>気付いてもらえやんというのは、君らにとっては辛い？</p>
ほなみ	<p>私は辛い。</p>
みゆ	<p>私も辛いと思います。</p>
T	<p>本当に殺される方がよかったのかな。本当に？</p>
	<p>他人事にも聞こえます。。</p>
T	<p>感想の続きを聞かせてもらおうか。</p>
みなみ	<p>ごんはもっともっとみんなと仲良くなりたいたいと思います。ごんは兵十と仲良しだと思っているかもしれないけど、兵十は仲良しとも思ってないし、仲間ってことも思ってないし、そんなことじゃ誰も仲間がないから本当は加助とかも仲良しになりたいと思います。ごんは兵十と加助以外にもイタズラした人たちとも仲良くなりたかったと思います。だからイタズラはみんなと仲良くなるためのイタズラだと思います。</p>
みゆ	<p>私は今日のごんは、いつも以上に勇気を出したと思います。でも逆に悪いことになったからかわいそうだと思います。でもごんは、悪くないと思います。悪いのは兵十だと思います。ごんは初めて兵十の家に入って勝手に人の家に入るのはダメだけど、いいことをしようとしていたから、いいと思います。でも、兵十がまたイタズラをしにきたと思ってごんを撃ったから兵十が悪いと思います。でも兵十は誰が栗や松茸を置いていくかわかったし、ごんはいたずらばかりしているんじゃないってわかったからよかったと思います。</p>
T	<p>みなみさんは、ごんは兵十のことを仲間みたいに思っているけど、兵十はそんなことは全然思ってない。みゆさんは、兵十が撃つのが悪いと言ってるね。ごんは兵十のこと好きだろうなとみんな言った。だけど兵十はごんを撃ち殺す。この違いは何だろう？</p>
みなみ	<p>兵十はなんでごんを撃ち殺したかと言うと、多分やけど、兵十のとったうなぎを盗んだり、そういうので撃たれたんだと思います。</p>
T	<p>でも、ごんは兵十のこと大好きなんでしょう。毎日毎日届け物もするんでしょう。</p>

ゆい	兵十は、ごんはうなぎとかを盗んだ悪い狐だと思っているから撃ったんだと思います。
だいご	ごんにうなぎをとられたから、兵十は。ごんは兵十のことを好きになっても、兵十はごんのことを好きじゃないからだと思います。
あやね	ごんの兵十のとったうなぎとか魚を逃がしたから、兵十は盗んだと思とって、悪いきつねだと思っているし、ごんが兵十のことが好きでも、届け物をしていることは知らないから、兵十はごんのことを嫌な狐としか思っていないから撃ったんだと思います。
T	はじめの頃は、ごんはアカン奴やって、ここの結構な人が言ってたよな。読んでいくうちに可哀想に思えてきたとか、ええことしとるやんって、そんなことをみんなは言い出すようになったよね？それは何で？どうして君らはそう思えるようになったん？
だいご	初めのうちはいたずらをしていただけ、兵十に対してただけで、うなぎの償いとかで、何て言ったらええかな、いたずらじゃなくて、人のために何かをやっているから、ごんはええきつねだと思うようになりました。
T	人のために何かをやっているごんを見て、だいごさんはごんに対する気持ちが変わってきたんだね。
みなみ	最初のごんは、兵十のうなぎを盗んだりしとったけど、後の方から、兵十にただけで、うなぎの償いとか、人の役に立つことをいっぱいしているから私はいい狐だと思いました。
あやね	ごんは最初の方はいたずらをしたり、うなぎをとっていたり、駄目なきつねだと思っていたけど、それからごんはうなぎをとらなかつたらよかったとか反省しとるとか、いわしをあげて、兵十が鰯屋にぶん殴られて反省したりして、兵十のために毎日、一日も欠かさず栗とか松茸を持って行っているから、いいきつねだと思います。
T	次はなんでみんなはそう思えるようになったのに、兵十はそう思わないのか、気づけなかったのかを考えたいと思います。

3月14日（月） 6の場面 「ごんの変化に気がつかなかった兵十について」

	(音読) 6の場面
T	ごんがじゃなくて、きつねが入ったって書いてあるけど、みんなはどう思う？
りゅう	なんか兵十の目線から見た感じ。
だいご	兵十の目線から見たら、ごんぎつねと普通の狐はそんなに区別がつかないと思うから、きつねって書いたんだと思います。
T	兵十のようしてどんな感じがする？
まさや	仕留めるつもり。
りゅう	狙いを定めて、殺したる。
T	足音を忍ばせて～、ここはどう？
だいご	足音を消しとる。
T	なんで消しとるの？
ゆうき	ごんに気付かれたら、逃げてしまう。
T	～兵十はかけよってきました。」これはどういうこと？

だigo	何かが倒れる感じだったから、討ち取ったぞって、すぐに見たいから、走っていったんだと思います。
りゆう	死んだかって、見に来た。
あやね	ごんを撃って倒れたから、死んだるかどうとかを見に行っただと思います。
T	兵十はかけよるって、どんな感じなん？
りゆう	ちょっと走る。
T	「うちの中を見ると～目を落としました。」兵十は何にびっくりしたんやろか。
まさや	ごんが栗を持ってきたと思って、おやっぴびっくりしたんだと思います。
みなみ	土間に栗がかためてあるのを兵十がびっくりして、ごんがやったっていう、ごんやったんかっていう感じでびっくりしたんだと思います。
T	土間に栗がかためて置いてあるってどんな感じがする？
だigo	土間に栗がバラバラに置いてあるんじゃないかって、誰かが家の中に入ってきてかためて置いてあるから、兵十はびっくりしたんだと思います。
まさや	僕は端っこにどっさり置いてある感じ。
みなみ	バラバラに置いてあるんじゃないかって、並べたりして置いてあると思います。
T	いわしのときはどなんやっけ？
こうだ	投げ込んでった。
T	今回は並べてあるような感じがすると言ったね。何か違ってあるかな。
だigo	いわしのときは雑だったけど、今回は丁寧に置いているような。
みなみ	いわしのときは、ごんは急いどった感じだったけど、今回はあんまりそういうのじゃなくて、逆にゆっくり目に置いた感じがしました。
T	今二人が言った、丁寧に置く感じ、時間をかける感じ、そこには意味があるんかな？丁寧に栗を置くごんについて考えてよ。
りゆう	バラバラに置いてあるんだしたら、栗はどこから来たんや、なんで来たんやって感じになるけど、かためて置いてあったら、誰かがくれたんやってわかりやすい。
T	あなたにあげるんだよっていうメッセージか。
だigo	投げ込んだんじゃないかって、かためて置いてあるから、ごんはスカウトみたいなのが変わったんだと思います。
あやね	鱒を投げ込んだときは、見つかったら撃たれるかもって怖かったから、急いで投げ込んでたけど、今は自分があげとるってのを知って欲しかったから、置いていったんだと思います。
T	「ごん、おまい～細く出ていました。」撃たれてしまうわけだね。ごんは変わってきているって君らは言ったけど、どうして兵十は気付かなかったんだらう。なんで撃つまでしたんだらうって。
だigo	ごんは兵十のうなぎを取った日から兵十の姿は何度も見てきたけど、それは兵十に気付かれないところや、兵十が気付いてないときに、ごんは兵十を見てきたんだと思います。なので兵十はいたずらをしていたときのごんしか見ていないので、ごんの変化に気がつかなかったんだと思います。
T	ごんは兵十の前に姿を現さないようにしていたっていうんだね。

こうだ	多分兵十はごんのいいことをしているところを見たことがないから気付かなかったんだと思います。気付いていたら火縄銃なんかで撃たないと思います。
ゆうき	ごんがいたずらをたくさんして兵十は許せなかったんだと思います。ごんが違うといっても言葉は通じないし、兵十はごんの気持ちがわからないから、ごんの変化に気付かなかったんだと思います。
りゅう	兵十はたぶん狐がこんなことするはずないとか、いたずらした狐がお詫びするわけないと思 って気付かなかったし、それにごんの姿を見てなかったから、ごんの変化に気付かなかった んだと思います。
T	そんなことするわけないと決めつけていたし、姿も見えていないか。
あやね	兵十はおっかあが死んで落ち込んでいたと思います。だから周りを気にすることができる状 況じゃなかったんだと思います。自分が生活することで精一杯で、ごんのことなんか見る気 持ちもなかったし、悪い狐ってずっと思っていただけだと思います。兵十はごんのことを悪 いと思い込んでいるし、ごんはごんで、兵十に見つからないように隠れてやっています。兵十は ごんの変化に気付かなかったんだと思います。
T	今まで出てきたのが、兵十が決めている。ごんがそんなええことするわけない。もう一 つは、兵十はごんのことを見てなかった。それはごんが隠れとったのもある。そこに付け足 したのが、あやねさんで、兵十は生活することで精一杯で周りを見る余裕もなかったとい うんやね。この3つが出たね。他の人はどう？
みなみ	ごんがうなぎを盗んだとき、兵十はごんのことを「ぬすつとぎつね」ってよんでいて、ごん はうなぎの償いとして食べ物を置いていっているけど、兵十はごんがやったって6の場面ま で知らないし、ごんは窓からイワシを放り投げたり物置の入り口に栗を置いてきたから、兵 十も誰がやっているか分からないから、兵十はごんの変化に気付かなかったと思います。
まさや	兵十はごんのことを悪者と思っていたから、ごんの変化に気付かなかった。
みゆ	兵十は、またいたずらされると思って焦っていて気がつかなかったんだと思います。普通は 家の中に狐が入っていったらびっくりするし、それが前イタズラをされた狐だからもっとび っくりして気付かなかったんだと思います。
ゆい	兵十はごんのことを悪い狐って思っていて、ごんにとっては兵十は友だちだけど、兵十は思 って、それで兵十はごんの変化に気付かなかったんだと思います。それと兵十はごんのこと を何とも思っていないで変化に気がつかなかったんだと思います。
T	ごんは兵十のこと好きだけど、兵十はそうじゃないし、何とも思ってなかったから、そうい うことに気づけなかったんじゃないかっていうんだね。
ほなみ	私はごんは兵十がとったうなぎを盗まなかったらよかったんだと思います。兵十はごんがう なぎを盗むまでごんのごんは知らなかったんだと思います。兵十はごんがうなぎを盗んだか ら悪い狐だと思ってしまったんだと思います。だからごんを撃ってしまったんだと思いま す。ごんがうなぎを盗まなくても殺されていたかもしれないけど、きつねが勝手に家の中に入 るなんて、何か盗みに来たとしか思えないけど、初めは兵十はもっとよく考えた方がいい と思ったけど、もし私が兵十だったら私も撃ってしまうと思います。でも今より昔の方が 狐とかは慣れていたと思います。私は兵十もかわいそうだし、ごんもかわいそうだと思

T	<p>ます。</p> <p>みゆさんも、ほなみさんも家の中にきつねが来たら撃ってしまうっていう。今までは絶対家の中には入らへんだんやもんね。このときに初めて家の中にまで入って、こういうことになったしまったんやろうからね。</p> <p>撃ってしまった兵十だけどさ、撃ってから考えていたことと違うことが起きてくるよね。栗がかためて置いてあった。そこで兵十は何が分かる？そして何が分からんままん？これ3人組で話してよ</p>
こうだ	<p>今まで食べ物を持ってきてくれたのは、ごんっていうことに気付いたんだと思います。</p>
まさや	<p>どうやって栗や松茸を持ってきたんだろう。</p>
ゆうき	<p>どうして持ってきてくれたんだろう。</p>
りゅう	<p>同じです。</p>
あやね	<p>ゆうきくと似とるかもしれんけど、いたずらをしてうなぎをとっていったのに、何で持ってきたのか分からない。</p>
T	<p>今までいたずらばかりしてきたのに、なんで。これはわからへんままんやよね。</p> <p>兵十が銃をばたりと落とすところ、どんな感じがする？</p>
だいて	<p>なんか今自分やったことをすごく後悔している感じがします。</p>
あやね	<p>こんなことしやへんだらよかったっていう気持ちがしていると思います。</p>
T	<p>「青いけむりが〜」どんな感じがする？</p>
だいて	<p>普通ならピストルとか撃っても白い煙が出てくると思うけど、青い煙が出てきたから、なんか撃った兵十の気持ちが、なんて言うかな、出ているような感じ。</p>
あやね	<p>まだ撃った瞬間みたいなのがちゃんと残ってって、青い煙は兵十とごんが悲しいと思った気持ちが出ていると思います。</p>
みなみ	<p>普通のピストルとかやったら、白い煙がいっぱい出てくると思うけど、青い煙が出とるから、ちょっと可哀想な。</p>
こうだ	<p>青色の煙は、なんか悲しい感じがするから、兵十の気持ちとか、ごんの気持ちが出ているんだと思います。</p>
みゆ	<p>それでごんが撃たれて、ごんはしゃべれないし、兵十はびっくりして、声も出ないし、それで青い煙だけがでているから、可哀想な感じがします。</p>
T	<p>(音読) ノートに「この結末について」自分が思ったことを書いてください。</p>

3月15日(火) 「この結末についてどう思うのか」

T	<p>みんなは「この結末について」どう思うのかを出してもらおうか。</p>
まさや	<p>ぼくはこの結末はよくはないと思います。兵十はごんを討ち取って「やったー」と思っていると思うから、ごんはかわいそうだと思います。ぼくは兵十が火縄銃でごんを撃つ前に気付いたら良かったのにと思いました。</p>
T	<p>兵十はごんを撃った後、やったあって思っとるやろか。</p>

りゅう	後悔しとる。
T	撃ったすぐは、やったあかもしれない。でもその後は後悔してそうだ。まさやさんも分かっていただろうけど。そしてだからこそ、撃つ前に気付いて欲しかったと。
だいご	ぼくは兵十が思っていた結末はごんを討ち取って「やったぞ〜」のような感じで考えていたと思います。ごんが思っていた結末は自分が栗を持っていっていることを兵十に知ってもらって二人とも仲良くなりました。のような感じで考えていたと思います。けど途中までは兵十の考えていたこと通りにいっていたけど、最後に栗を持ってきていたのはごんだということを知ってすごく後悔しているし、ごんはもう死んでしまったから何もできないので誰もごんを撃ったことを喜ぶ人はいないと思います。
T	ごんはいたずらばっかりしてきたはず、でもこの時点では、誰もごんを撃ったことを喜ばないんじゃないかって言うんだね。みんなはどう思う？
りゅう	ぼくはみんなは喜ぶと思います。理由は兵十にだけ栗を持ってきても、他の人は何ももらってないし、いたずらされたまんまだから、殺す方がよかったと村人は思っていると思います。
みなみ	この教科書には書いてないけど、私は殺さない方がいいと思います。理由はごんはいたずらをするけど、ごんにもいいところはあると思うから、私は殺さない方がいいと思います。
みゆ	私は喜ぶと思います。ごんは今まで悪いことをしてきたし、それに栗とかを置いてきたのは兵十にだけだから、村の人はそういうのは知らないから、いたずらをするごんが撃たれたって喜ぶと思います。
こうだ	僕は兵十は後悔したけど、村人は喜ぶと思います。理由は、栗や松茸をごんが持って行くのは、兵十だけだからです。
T	となりの人に自分はどう思っているか、絶対に言って。
のぞみ	村の人たちはいたずらをされていて困っていて、ごんがそれをやっていたから、いたずらする人がおらんくなって、喜んで思うけど、兵十はいたずらはされていたけど、栗とか松茸を持ってきてくれとったことを嫌とは思ってなくて、反対に、おっかあが死んでから、栗や松茸を持ってきてとったから、嬉しかった方だと思うから、兵十はすごく後悔していると思います。
あやね	兵十はごんが栗を持ってきてくれとったことを知って、それで撃ってしまったから後悔しているけど、村の人たちは今までのいたずらをされていて、栗とかを持っていったのも兵十にだけだから、みんないたずらばかりされとって、悪いきつねやと思っとるから、誰もごんがいいことをしているなんて思ってないと思うから、ちょっと喜んで思うと思います。
ゆうき	兵十はごんを撃ってしまって、ごんが栗を持ってきてくれとったことがわかって、兵十は後悔しているけど、町の人たちは、いたずらをするごんがいなくなって、嬉しがっていると思います。
ゆい	兵十はごんを殺してしまって、後悔していると思うけど、村の人たちはもういたずらをするのがいなくなったから喜んで思うと思います。
T	だいごさんの誰も喜んでないというのには、みんなはあんまりそうは感じてないんだね。兵十はすごく後悔しているけど、村人は喜んでるんじゃないかって。理由としては、いたずらがなくなるんじゃないか、減るんじゃないかって。ごんさ、穴の中で後悔して反省して

	から、あの後も兵十以外にはいたずらをしとったと思う？
だいご	してなかったと思う。
C	してなかったと思う。
T	ごんがおらんようになるんだけど、いたずらが減って喜ぶやろか？もう一つ分からなくなってきたもんで聞かせてくれる？この話を伝えたのは誰だっけ？
C	兵十。
T	兵十だけだっけ？はっきりとはどこにも書いてないけど、新美南吉ではないよな？茂平でもないよな？殿様だっけ？
だいご	違う。
T	想像して考えるに、兵十を含めた中山っていう村の人たちが、この話をずうっと語り継いできて、今、小さい頃村の茂平に聞いたわたしが語っているというかたちになっとるよな。ってことは村の人たちは、やっぱりこの話を残していくべきだ、語っていくべきだってなったんだよな。そういくと、村の人が喜んだっていうんだったら、いたずら者がこうしていなくなったとええ話やなあとして残していくと思ったん。
	みんなはごんが死んだことをどう思った？
だいご	喜んではない。
T	だいごくんは喜べない。
りゅう	最初ごんが死んだと聞いて喜んでたかもしれないけど、この話を聞いて喜ばなくなったと思います。
あやね	ごんが死んだと聞いただけやったら、その時は喜んだかもしれないけど、あとから、ごんがいいことをしとったって聞くから、それで村人は喜べんくなったと思います。
みなみ	最初のごんが死んだと聞いただけやったら、村人は喜ぶと思うけど、兵十から栗や松茸を持ってきてくれたんやって聞くと、あんまり喜ばなくなったと思います。
T	あんまり喜ばなくなるというのは、少しは喜ぶってこと？
みなみ	なんか村中が騒ぎ始めるっていうか、ごんが死んだだけじゃなくて、そういうことがわかったから、ざわざわしとるって感じ。
T	この前、兵十に分かっとること、分かってないことってやったよね。そこに関連してこうだいくん書いてたね。
こうだ	この結末はいいと思うところもあるけど、悪いとも思いました。いいと思ったことは今まで毎日食べ物を持ってきてくれたのはごんだと気付いてもらえたことです。悪いと思うところは兵十がなぜごんが毎日食べ物を持ってきた理由を気付いてもらえないのがかわいそうだからです。
T	ごんが持ってきたというのは兵十にも分かったし、それを兵十が伝えたら周りも分かるよね。でも何で持ってきたんやろかっていうのはその時は分らんだはずやよな。どうしてこの話ではさ、ごんは反省して、償いをしに持ってくるようになったやんか、なんでそういうことが村人に語るができるようになったんやろか。言い方おかしいかな。はじめはわかっていなかったはずのことが、なんでこのようにわかってきたんやろ。答えはないかもしれないけど、3人組で相談して。

強引

だいご	兵十はごんにうなぎを盗まれたことを記憶をたどって行って、なんでごんが栗や松茸を持ってきてくれるようになったかを想像したんだと思います。
のぞみ	私はちょっとだけ違って、うなぎとかじゃなくて、そのことで兵十は考えとると思うけど、おっかあが死んでから不思議なことがあるって加助に話とったから、そういうことから、ちょっとだけ思い出してきたと思います。
あやね	兵十はうなぎをとられて、おっかあが死んでから不思議なことがあるから、加助に相談していて、他にもあったことを加助以外にも相談していると思うから、そういうので考えていつて分かってきたんだと思います。
みなみ	兵十は加助とかにごんのことを話したりして、そういうのとかで、加助もそれを聞いたときに、違う人とかにも相談しとると思うし、兵十も加助以外にも相談しとると思うから、そういうところとかで広まってきたんだと思います。
T	<p>みんな、ごんを撃ったとき兵十は絶対に後悔しとると言ったね。兵十はごんが持ってきてくれたというのは分かるけど、なんでかというのは絶対に分らんよね。後悔の中で、そういうのも考えたんじゃないか。そうする中でうなぎのことや加助との話のことや、前にりゅうたくんが言ってたよね、きつねがそんなことするわけない。でも悪いと思っただけきつねがこんなことをしていた。そこで村人は一緒になって考えだしたのかもしれんね。それでこんな話じゃないかと考え、語り継いできたんだらうね。</p> <p>語り継ぐには、それなりの思いがあるはずだよ。それは最初に考えたよな。そのとき、きつねにはこんないいやつもいるんだということ伝えてたかという人もいれば、もう少し考えて行動しなくちゃ不幸になるよっていう教訓じゃないかって言う人もいたけど、今ここまでしっかり読んできたじゃんか。書かれてない部分も君たちはどんどんイメージしてきたよな。こういうことがあったから、そういうことになったということもしっかり読んできた。どうしてこの世界では、この話が語り継がれてきたんだらう。最後の感想にそのことにもふれて書いてください。</p>

3月15日（火）感想 「最後の感想」この話がどうして語り継がれてきたのかも考えて

とうせい	ごんは、兵十の家へ栗やまつたけを持っていった。それは、兵十のお母さんが死んでかわいそうだからだと思ふ。でも、兵十は、ごんのことを悪いきつねだと思つた。だから銃で撃つた。ごんがたおれた時、兵十は、「ごめん」と言ったと思ふ。
------	--

3月23日（水） 「最後の感想を配布して読み合い、交流」

のぞみ	ごんは一人ぼっちだったのに兵十のおっかあが死んでから兵十のおっかあみたいに兵十の面倒を見ているように私は思いました。ごんは仲間と家族を失って仲間とかの代わりに村の人たちにいたずらをしたんだと思ひました。だからごんは兵十に栗や松茸を毎日渡しに行けたんだと思ひます。ごんは最後に撃たれて死んだけど村の人たちは本当は優しいごんを知つて、村の人たちは後悔したと思ふから自分たちがごんにつぐないをしたいという気持ちで語り続けているんだと思ひます。
りゅう	ぼくは、ごんの死に方はあまりに悲惨だから墓地にいれたいです。村人はごんのことをいた

	<p>ずらすきつねでみんな知っていたと思うけど、ごんは兵十にいたずらをして、「もうイタズラはしちゃいけない」と思って逆にお詫びをしはじめたから、えらいと思います。それなのにお詫びをしているときに兵十に殺されたんだから、みんな「かわいそうな死に方」とか言って広がって、それでみんないろんな子どもとかに、「こんなきつねがおって、こんな殺され方したんやよお」と言って語り継がれてきたんだと思います。このは話では動物だけど人間のことなのかもしれない。</p>
T	<p>のぞみさんとりゅうたさん内容は似ているところがあるよね。せっかく心を入れ替えてやっている人を撃ってしまってええのかっていう。</p>
みゆ	<p>私は結末はよくないけどいいお話だと思います。理由はごんはいたずらばかりしていたのに優しい気持ちになって毎日毎日いいことをしているし、兵十は悪いきつねだと思っていたごんのことを撃ったのを後悔して、ごんを好きになったと思います。私はそれで兵十とごんはお互い好きになったし、兵十はごんを撃ったことを、ごんはいたずらしたことを後悔していい話だと思います。悲しい話だけど嫌っていた人を会えなくなっただけから好きになることもあるかもしれないっていうのを伝えたかったんだと思います。</p>
T	<p>みゆさんはそれをええと言うんだけど、みんなはどう？みゆさんは、兵十もごんを好きになったんじゃないかって、でもそのとき、ごんはもう殺されていないよね。結局二人が仲間になることはなかったやんか。思いがつかないこともなかったよな。ごんが死んだ後に、兵十はごんに思いを寄せる、それについてどう思う？</p>
こうだ	<p>ぼくはいいとは思わないと思います。兵十が好きになったところで、もうごんは、死んでしまったから意味がないと思うから。</p>
だいで	<p>ぼくはみゆさんと同じでいい話だと思います。ごんは最初から兵十を好きで、兵十も死んでから好きになったけど、思いは伝わらなくても、お互いに好きになったからよかったと思います。</p>
のぞみ	<p>私はどっちかわからないけど、ちょっと話は違うけど、兵十のおっかあが死んでから、ごんは気持ちというか、いたずらしていたのに急になんか、やめていったと思うから、そういうことで、兵十も気持ちはなんか好きって、気持ちは好きって思っとなと思うから、私はいいと思います。</p>
りゅう	<p>ぼくもごんが死んでしまっただけから、兵十が好きになっても、ごんには分からなくて、ごんには分からないから兵十が好きになっても、死ぬ前に好きにならなきゃ意味がないと思う。</p>
ゆうき	<p>ぼくはごんは兵十のことを好きだと思う。でもごんは死んでいったから、死ぬ前に好きにならなくちゃ意味がない。</p>
T	<p>ゆうきさんとしては、そんなじゃあかんってことかな。</p>
ゆい	<p>ごんが栗とか松茸を持ってきたのが、ごんて分かって兵十に、それで兵十が誰が持ってきたのか分かったから、ちょっとはいいと思います。</p>
T	<p>気持ちはわからなくても、行動さえ分かってくればいいというんだね。</p>
あやね	<p>私はこの話の全体を読んで、いいと思うんだけど、この6場面だけはいいとは思いません。兵十はごんを撃ってから、気付いて、ごんも行動を分かっただけからちょっとは嬉しかったと思うけど、でも私はごんは仲間になりたかったと思うから、仲間になれたらもっとよ</p>

T	<p>かったと思います。</p> <p>話自体の良さは認める。いい話だとは思うけど、この場面撃たれるべきじゃなかったというのがあやねさんの考えだね。</p>
みなみ	<p>ごんが撃たれたときに、ごんは多分、動物が撃たれたときは、だいたい死んでしまうけど、ごんは多分撃たれたときに、痛みとかもあったから首とかで返事をするぐらいしかなかったと思うから、この話は悪い話でもないし、でもちょっと悪いかな。いい話ではないと思う。</p>
まさや	<p>兵十はごんと仲直りをしたらいいと思っていたと思うけど、ごんはもう死んでしまったから、仲直りできないから兵十は後悔していると思います。</p>
T	<p>仲直りってことは初めは仲が良かったんかい？仲良くなりたいの方がいいんじゃないかな。</p>
みゆ	<p>最初のとはちょっと違うけど、ごんぎつね全部の話はいい話だと思うけど、この部分はいいっていうか、感動する。</p>
T	<p>いいか悪いかではなくて、ここに感動するっていうんだね。</p>
ゆうき	<p>じゃゆうきさんのを読んでもらおうか。今までこんなに長く書いたことはなかったよね。</p> <p>ぼくは最初はごんはいたずらばかりしていて悪いきつねだと思っていた。でもごんはうなぎのつぐないに栗を毎日持っていったらほんとは優しいきつねだなあと思いました。ごんはいつも栗を渡しているからごんは友だちになりたくなっただと思ひます。ただ言葉は通じないし兵十はごんの気持ちがわからないから友だちになれないかもしれないと思ひます。ごんは兵十と加助の話をして、ごんは一緒に懸命持てているのに兵十を助けているのは神様だと勘違いしているから、ごんは気付いてほしかったなあーと思ひながら泣きそうになったと思ひます。ごんは兵十に気づいてもらって友だちになろうと思ひて、中に入ろうとしたんだと思ひます。ただ兵十はごんを見つけてすごく許せないと思ひて火縄銃をとったんだと思ひます。そしてごんは撃たれてしまひます。兵十と友だちになれなかったと思ひていたけど、ごんが持てきているのに気づいてもらえて、ごんは嬉しかったと思ひます。このお話はとても悲しい話だと思ひました。</p> <p>このお話が語り継がれてきたのは、ごんみたいに優しい人になてほしかったんだと思ひます。ごんは最初はとても悪いきつねだったけど兵十のために栗を毎日持てているからです。ごんは栗をとるのにとても疲れていると思ひけど、どうしても喜んでほしかったから、ごんは毎日持ていったんだと思ひます。</p>
まさや	<p>ぼくは結末は悲しいけど良いところもあると思ひます。この結末は兵十がごんを撃て、ごんはかわいそうだけど兵十が栗や松茸を持ていているのがごんだということがわかったからよかったと思ひます。でももうちょっと早く気付けば良かったのにと思ひました。そしてぼくはこの話は結末はよくないけど、ごんがちょっとはいいところはあるとわかりました。はじめはいたずらばかりしていたけど後になて栗や松茸を持ていているからちょっといいところはあると思ひます。ごんが毎日毎日栗を持てきたのにごんが死んでしまったから今までのごんの苦勞が全部なくなつて感じがします。そしてごんはかわいそうだと思ひました。</p>
T	<p>まさやさんは、ごんが毎日届けた苦勞や気持ちはなくなつてしまつたっていうけど、みんなはどう？</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">取り上げるべきだったのか</p>

だいご	ごんは栗を毎日毎日持って行っているけど、撃たれてしまって何もできなくなってしまったから、苦労はなくなったと思います。
T ゆうき	さっきは思いは通じなくてもええと言っていたけど、今はちょっと変わってきたってこと？ ごんは撃たれてしまって今までの苦労はすべてなくなってしまって、ごんはちょっと...
T みなみ	<p>次の人にいこうか。</p> <p>私はこの話はごんと兵十の思いがつまった話だと思います。私はごんの後悔する気持ちやお母さんをなくした悲しい気持ちは経験してなくともよくわかります。ごんの気持ちはわかるようでわかりません。イタズラをして、どこが嬉しくて、どこが楽しいのかがよくわかりません。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">仲良くなりたいたいからって自分で言っていたけど...</p> <p>私はごんが栗を持っていくのは（うなぎのつぐないがしたい！）っていう気持ちで「神様のしわざだぞ」って加助に言われても（どうしても自分がやってる！）って知ってもらいたいと思っていると思うしアピールしたかったと思います。だからその気持ちが私にはわかります。ごんの栗を置きに行きたい気持ちは分かるけど私なら「神様のしわざだぞ」って言われたら「もういいや」って置きに行かないと思います。それに撃たれたり酷い目にあわされる覚悟はしていると思うけど、そんな怖い覚悟をしてまでいかななくてもいいと思います。</p> <p>私はこの話はいい話だと思います。ごんも兵十もいい人だと思います。ごんも兵十のお母さんをなくした気持ちと一人ぼっちになった気持ちは、ごんもわかるし、ごんもうなぎをとって後悔したし、兵十もごんを撃って後悔したし、両方後悔した同士だから二人とも自分の「（あ～やらんだらよかった）っていう後悔したときの思いはわかりあえると思います。</p> <p>最初はかわいそうだと思っていたけど、今思うとよかったと思います。最初にごんが殺されてかわいそうだと思っていたけど、ごんは最後に自分がやったって気付いてもらえたからよかったと思います。</p>
あやね	<p>私は、この話は、決めつけたりするのは、よくないってことを伝えたいのと、いい話だと村の人の心に残ったから語り継がれてきたんだと思います。誰でも思い込みはしてしまうと思うけど、兵十が、いたずらされたから、ごんを悪いきつねだと決めつけているし、ごんも、兵十からしたら、嫌なきつねなのに、勝手に兵十のことを家族みたいに思って何をされるかわからないのに兵十に近づいていっているからです。ごんはどうしても気付いてほしいって気持ちもあってうちの中へ入ったんだと思うけど、前までは兵十のことを怖がっていて、家の中には入らなかったのに、ちょっと油断してしまっている気がします。兵十も本当のことをみていないのに、ごんはひどいいたずらばかりする悪いきつねだと決めつけて撃ってしまって悪い結果になってしまったから、決めつけたり、勝手に思ったりするのはいいことではないって伝えたかったんだと思います。</p> <p>兵十と一緒に、不思議なことを考えていたら、村の人もごんのことが優しいきつねと分かって、兵十は後悔したと思うし、反省もしたと思うし、この話はいい話だと思って語り継ごうと思って語り継がれてきたんだと思います。</p> <p>私は、この話は、すごくいい話だと思います。いたずらばかりしていたごんの変化にはびっくりしました。いたずらばかりしていたごんは、人が困ることばかりして嫌なきつねと思っ</p>

	<p>ていました。でも、兵十に栗や松茸をあげているごんは好きです。もう悪いきつねだとは、思わなくなりました。でも、この結末は嫌です。せっかくごんは、いいことをするいいきつねに変わったのに、撃たれてしまったからです。ごんと同じ一人ぼっちだから、兵十は遊んでくれるかもしれないと思って兵十と仲良くなりたかったと思うけど、仲良くなれなくてごんは、かわいそうです。兵十も、いたずらされている時は、かわいそうだと思っていたけど、今は、ごんを撃たなかったらよかったのに。とってしまいます。でも、兵十がごんの変化に気がつけなかったのも、しょうがないのかなって思います。こんな結果になったのも、悪いことをしたごんも悪いけど、ごんが前にでれないような、前にでたら何かする、村の人たちも悪いと思います。</p>
T	<p>ときどき書いてあることを変えていいですかって言うよね、のぞみさんもだけど、その方がいいんですよ。書いてあることをただ読むより、みんなの話を聞いて考えを変えたり、付け加えたり、それこそ成長なんじゃないの。すばらしいことですよ。</p>
こうだ	<p>ぼくはこのとき書いていたことと思うところが違って、語り継がれてきた理由は、さっきあやねちゃんが言っていたように、勝手に自分が一番合っているとか決めつけたりしたらあかんのだと思います。このお話を読んでいて、ごんはかわいそうだと思います。兵十のうなぎを持ってきてしまったことを反省して兵十に栗や松茸を毎日持って行っているのに、その兵十に火縄銃で撃たれて殺されてしまったからです。</p>
ほなみ	<p>私は、ごんぎつねは、テレビで見えて知っていました。でも、教科書で勉強すると、兵十や、ごんの気持ちが、分かってきて、こんなお話なんだなって改めて思いました。最初は、このお話は、嘘なんじゃないのかなと思っていました。でも色んな疑問や教科書には書いていないことをみんなで話し合ったりして本当なんじゃないかと思ってきました。私は、ごんぎつねは、悲しいお話だと思います。ごんは、いたずらをしてきて、最後には、兵十のウナギを盗んだから、兵十のおっかあが死んだと勘違いして、いたずらはしてはいけないことだと反省しました。それまで村人にいたずらをたくさんしてきて後悔したことはなかったと思うけど、すごく後悔しているから栗や松茸を持ってきている間はいたずらはしていないと思います。ごんは食べ物をとって兵十の家に届けているから、いたずらする時間もないし「もういたずらはやめよう」とたいがい思ったんだと思います。今は兵十のうなぎのつくないで精一杯でかわいそうだと思います。でも、ごんは兵十と仲良くなりたかったんだと思います。ごんは仲良くなりたい気持ちだけど兵十の方はごんのことにはまだ知らなくて仲良くなりたいたいという気持ちはなかったと思います。ごんはいわしを兵十の家にほうり投げてから、次の日に兵十の家へ栗を持っていくと兵十がぶつぶつ言っていて、これはごんは相当ショックだったと思います。渡す勇氣も出なかったと思います。でも怖かったけど、これはうなぎのつくないだからと思ってあきらめなかったんだと思います。加助が「栗や松茸を持ってくるのは神様のしわざだぞ」「神様にお礼を言うがいいよ」と言って、兵十が「うん」と返事したとき、ごんは怒っていました。でも兵十の「うん」はあんまり信じていない感じの「うん」なんだと思います。こんなことがあってもごんは栗を持って兵十の家へ行くからえらいと思います。ごんはそれから撃たれてしまうけど、兵十に気付いてもらえたから、よかったと思います。もし気付いてもらえなかったら、すっきりして死ねないと思います。だい</p>

T	<p>ご君が言っていた火縄銃から出た青い煙は今の兵十の気持ちだと思います。ごんはかわいそうだと思うけど、兵十はすごく後悔していると思います。ごんが死んでから2、3日経って、兵十が加助に一番に言いに行ったんだと思います。それから加助も村人に次々言って行ったんだと思います。そして殿様に言ったり、昔話とかになっていったんだと思います。</p> <p>この終わりの感想、内容を見ないで量だけ見ても、みんなすごい量を書いているよね。これだけ書けるっていうのは大したものですよ。内容もしっかり書けると思うよ。</p>
---	---

3月23日（水） 「みんなの感想を読んで」

※この感想は配布して読みましたが、授業はしていません。

のぞみ	<p>ほなみちゃんの感想を読んで思っ「疑問や教科書には書いてないってことをみんなで話し合ったりして本当なんじゃないかなと思ってきました。」って書いてあって私もそう思います。読むだけじゃわからないからみんなの話しを聞いて自分もこう思うってわかりました。だからいろんな感想が出てきたと思います。</p>
だいご	<p>ぼくはほなみさんの感想の最後の方に書いてある「ごんが死んでから2、3日経って、兵十が加助に一番に言いに行ったんだと思います。」はぼくもそう思います。兵十はごんを撃つことを後悔して「このことを誰かに話せば少しは気がおさまるだろう」と思って、加助に話しに行ったんだと思います。</p>
みなみ	<p>あやねちゃん書いていた「決めつけるのは良くない。そういうことを伝えたい。」っていうところ私もそう思います。ごんは兵十と仲間とっていて、でも兵十は仲間って全然思っていないから決めつけるのはよくないと思います。それに全体の話はいい話だと思うけど、みんな書いていた撃たれる場面はかわいそうだと思います。私はほなみちゃん書いていたように、教科書で勉強すると改めてごんと兵十の気持ちがわかります。みんなごんの撃たれたときの想いや感想を書いているけど、同じ場面のことを書いていてもそれぞれが想いが違うから色々なことが書いてあってすごく面白かったです。</p>
みゆ	<p>私もりゅうたくんと一緒に、ごんをお墓に入れたいです。イタズラとかをして殺されたりするのは動物だからあると思います。でもいいことをして殺されるっていうのは聞いたことがないし、かわいそうだと思います。だから、ごんをお墓に入れたいです。</p> <p>まさやくんの苦勞が全部なくなったとは違うと思います。少しの間でも、兵十の役に立てたと思うし、ごんが兵十にやってあげたかったことは、一部分でもできたと思います。だから、苦勞はなくなってないと思います。</p>
ゆい	<p>私は兵十の家にごんが栗とか松茸をとどけたりして、兵十はうれしかったと思います。私はほなみちゃんのを読んで最後らへんのを読んで「すっきり死ねないと思います。」って書いてあって、ごんはすっきり死ねなかったら後悔すると思うから、ごんはすっきり死ねてよかったと思います。</p>
あやね	<p>とうせいくんは、ごんが倒れたとき、兵十はごめんって言ったと思うって書いていて、私も兵十がごめんって言ったかはわからないけど、「ごめん」って気持ちでいっぱいだったと思います。兵十は「せっかく栗や松茸を持ってきてくれていたのに」って、ごんにすごく悪いこ</p>

	<p>とをしたらごんが死んだことを後悔したと思います。もうもとはもどせないって泣きたくなったと思います。私は村の人たちが、ごんに何かしてあげたいとか、つぐないたいとか思っていることは気がついていませんでした。でも、みんなの意見を聞いて、私もそう思いました。兵十はごんを撃ってしまったことを何よりも後悔していて、ごんに何かしたいと思っているとは思ってました。村の人たちも、ごんをかわいそうだと思って、ごんを悪いきつねだと決めつけていたことを反省したと思います。村の人たちが、ごんが栗を持ってきていたって聞いて、初めは「まさか、ごんが」と思ったと思うし、嘘だと思った人もいます。でもよく考えて決めつけ悪かったって思ったと思います。</p>
ほなみ	<p>私はのぞみちゃんが言っていた一人ぼっちだったのに兵十のおっかあが死んでから兵十のおっかあみたいに兵十の面倒をみているようでしたの意見を聞いて、私もそう思います。それとすごくいい意見だなあと思う人がいて、あやねちゃんとゆうきくんの感想です。あやねちゃんは少し意見を変えて言っていました。私はあやねちゃんが最初に書いていた方で（誰でも思い込みはしてしまうと思うけど、兵十がいたずらされたから、ごんを悪いきつねだと決めつけているし、ごんも兵十からしたら嫌なきつねなのに勝手に兵十のことを家族みたいに思って何をされるか分からないのに兵十に近づいているからです。）はいい意見だと思います。あやねちゃんは長いし内容までしっかり書いてあるのでいいと思います。なので私も内容をしっかり書けるようにしたいです。ゆうきくんの方は全部の内容がいいと思ったけど、とくにいいと思ったところは、教科書には書いてないところとか、みんなで話し合ったけど、ゆうきくんは教科書には書いていないし、みんなで相談していないことまで書いてあるからすごくいいと思います。</p>
こうだい	<p>ぼくはみんなの感想を読んではじめ思っていたことと、今思っていることは全然違います。最後の感想を書いていたときは、ちょっとしたいたずらで人の前にでれなくなるということ伝えたいんだと思っていただけ、今は何でも自分たちが決めつけたりしてはいけないということ伝えたいんだと思いました。</p>
りゅうた	<p>ぼくはみんなの感想を読んで、さすがだと思います。理由はぼくがどんだけ考えても出てこなかったのをほなみちゃんとあやねちゃんはすごく書いていたからすごいと思います。あと、それを読んだら、俺もってなるのですごいと思います。</p>

○ おわりに

活字にすると活発に意見や考えが出される授業のように見えますが、たくさんの沈黙がある授業でした。ただ書かせると、しっかり聞いて考えているのだなと感心させられることは多かったです。逆にこんな素敵な発言をしているのに文章を書くことに自信が持てない子もいました。最後の「なぜ語り継がれてきたか」については、あえてまとめることはしませんでした。なんだか道徳的になりすぎるような気がしたからでもあります。ですがもっと踏み込んで話し合えばよかったのかなとも思います。ただ、みんなが「ごんぎつね」の世界に入って、ごんや兵十を見たかのように、考え話す姿は素敵でした。作品世界を創っていくなかで成長を実感できたり、新たな一面を発見できることは教室の最も楽しみな営みです。今回時間数が多くなってしまいましたが、それは考えが堂々巡りして授業が停滞したからです。そこにどう切り込むかという手立てを用意すること、それが自分にまだまだ足りない力なのでしょう。